

【Google合同会社】における利用者情報の取扱い状況 昨年度ヒアリングシート回答との項目の比較

	回答（2021年）	回答（2022年5月17日）
1. 利用者情報の取扱い状況	<p>1-1. 利用者情報取得の場面・取得する情報の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> Googleは、すべてのユーザーによりよいサービスを提供するために情報を収集する。ユーザーの使用言語といった基本的な事項を理解することや、ユーザーにとって最も役に立つ広告などの広告か（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-useful-ads）、おすすめのYouTube動画はどれか、などの複雑な事項を推定することが含まれる。 Googleがどの情報を収集するか、その情報がどのように使用されるかは、ユーザーがどのようにGoogleのサービスを利用するか、またプライバシー設定をどのように管理するかによって変わる。Googleはユーザーが作成し、提供する情報（例えばGoogleアカウント）、Googleのサービスにアクセスするために利用するアプリやブラウザ及びデバイスに関する情報を収集し、おすすめのYouTube動画を提示するなどユーザーにより役立つ情報を提供するために活用している。また、Googleサービス利用時の位置情報も収集するが、ユーザーはGoogleアカウントにアクセスして、Googleに共有する情報や位置情報のような情報をいつ削除するかを確認、管理することができる。Googleは、包括的なプライバシーポリシー（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&infochoices）により、ユーザーがどのように自らのデータを管理できるのかを分かりやすく示している。 	<ul style="list-style-type: none"> Googleサービスの利用時にGoogleが収集する情報 Googleは、すべてのユーザーによりよいサービスを提供するために情報を収集します。ユーザーの使用言語といった基本的な事項を理解することや、お客様にとって最も役に立つ広告などの広告か、おすすめのYouTube動画はどれか、などの複雑な事項を推定することが含まれます。Googleがどの情報を収集するか、その情報がどのように使用されるかは、お客様がどのようにGoogleのサービスを利用されるか、またプライバシー設定をどのように管理するかによって変わります。Googleはユーザーが作成し、提供する情報（例えばGoogleアカウント）、Googleのサービスにアクセスするために利用するアプリやブラウザ及びデバイスに関する情報を収集し、おすすめのYouTube動画を提示するなどユーザーにより役立つ情報を提供するために活用しています。また、Googleサービス利用時の位置情報も収集しますが、ユーザーはGoogleアカウントにアクセスして、Googleに共有する情報や位置情報のような情報をいつ削除するかを確認、管理することができます。Googleは、包括的なプライバシーポリシーにより、ユーザーがどのように自らのデータを管理できるのかを分かりやすく示す努力を行っています。
1-2. 取得情報の加工・分析・利用状況	<ul style="list-style-type: none"> サービスの提供 ユーザーの情報を、サービスを提供するために使用する。たとえば、検索キーワードを処理して結果を表示するため、ユーザーの連絡先から共有相手の候補を表示してコンテンツを共有しやすくするためのなどに使用する。 サービスの維持、向上 ユーザーの情報を、サービスを意図したとりに稼働させるために使用する。たとえば、障害事例を追跡するため、あるいは報告をいただいた問題の解決に取り組むために使用する。また、ユーザーの情報を、Googleのサービスを向上させるために使用する。たとえば、特にスペルミスの多い検索キーワードを把握し、各種サービスでのスペルチェック機能の向上に役立てます。 新しいサービスの開発 既存のサービスで収集した情報を、新しいサービスの開発に役立てます。たとえば、Picasa（Googleの最初の写真アプリ）でユーザーがどのように写真を整理するかを把握したことが、Googleフォトの設計とサービス開始に役立ちました。 コンテンツや広告など、カスタマイズしたサービス提供 Googleのサービスを個々のユーザーに合わせてカスタマイズするため、収集した情報を使用する。たとえば、おすすめの情報を表示する、カスタマイズしたコンテンツを表示する、カスタマイズした検索結果（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-customized-search）を表示するなど目的の使用です。 パフォーマンス測定 Googleのサービスがどのように利用されているかを把握するために、分析や測定のためのデータを使用する。たとえば、Googleのサイトへのユーザーのアクセスに関するデータを分析して、サービスデザインの最適化などに役立てます。また、広告主が広告キャンペーンの効果を確認できるように支援するために、ユーザーが操作した広告に関するデータを使用する。 ユーザーの皆さまとのコミュニケーション Google、Googleのユーザー、一般の人々の保護 Googleは、収集した情報をGoogleのサービスの安全性と信頼性（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-safety-reliability）を向上させる取り組みに使用する。こうした取り組みには、Google、Googleのユーザー、もしくは一般の人々に害を及ぼすおそれのある不正行為、不正使用、セキュリティリスク、または技術的な問題の検知、防止、対応などが含まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> Googleは、Googleのサービスを通してお預かりした情報を以下の目的に使用します。 サービスの提供 ユーザーの情報を、サービスを提供するために使用します。たとえば、検索キーワードを処理して結果を表示するため、ユーザーの連絡先から共有相手の候補を表示してコンテンツを共有しやすくするためのなどに使用します。 サービスの維持、向上 ユーザーの情報を、サービスを意図したとりに稼働させるために使用します。たとえば、障害事例を追跡するため、あるいは報告をいただいた問題の解決に取り組むために使用する。また、ユーザーの情報を、Googleのサービスを向上させるために使用します。たとえば、特にスペルミスの多い検索キーワードを把握し、各種サービスでのスペルチェック機能の向上に役立てます。 新しいサービスの開発 既存のサービスで収集した情報を、新しいサービスの開発に役立てます。たとえば、Picasa（Googleの最初の写真アプリ）でユーザーがどのように写真を整理するかを把握したことが、Googleフォトの設計とサービス開始に役立ちました。 コンテンツや広告など、カスタマイズしたサービス提供 Googleのサービスを個々のユーザーに合わせてカスタマイズするため、収集した情報を使用する。たとえば、おすすめの情報を表示する、カスタマイズしたコンテンツを表示する、カスタマイズした検索結果を表示するなどの目的を使用します。 パフォーマンス測定 Googleは、Googleのサービスがどのように利用されているかを把握するために、分析や測定のためのデータを使用します。たとえば、Googleのサイトへのユーザーのアクセスに関するデータを分析して、サービスデザインの最適化などに役立てます。また、広告主が広告キャンペーンの効果を確認できるように支援するために、ユーザーが操作した広告に関するデータを使用します。 ユーザーの皆さまとのコミュニケーション Googleは、収集したユーザーのメールアドレスなどの情報を、直接ユーザーにご連絡を差し上げるために使用します。 Google、Googleのユーザー、一般の人々の保護 Googleは、収集した情報をGoogleのサービスの安全性と信頼性を向上させる取り組みに使用します。こうした取り組みには、Google、Googleのユーザー、もしくは一般の人々に害を及ぼすおそれのある不正行為、不正使用、セキュリティリスク、または技術的な問題の検知、防止、対応などが含まれます。
1-3. 利用者情報の第三者提供の状況	<p>ユーザーは、Googleのサービスを利用するとき、下記の内容が明記されたプライバシーポリシーに同意の上で、利用を開始する。下記プライバシーポリシー該当箇所を参照。</p> <p>Googleは、以下の場合を除いて、ユーザーの個人情報をGoogle以外の企業、組織、個人と共有することはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーの同意を得た場合 ユーザーの同意を得た場合に、Google以外の者と個人情報を共有する。機密性の高い個人情報（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-sensitive-info）を共有する場合は、ユーザーに明示的な同意を求めます。 外務関係の場合 Googleの関連会社およびその他の信頼できる企業または個人に対し、個人情報をGoogleのために処理させる目的で当該個人情報を提供する。その場合、当該関連会社、企業、または個人は、Googleのプライバシーポリシーならびにその他の適切な機密保持およびセキュリティの方策に従って当該処理を行う。たとえば、Googleではカスタマーサポートのサービスを「プロバイダー」委託することがある。 法律上の理由の場合 個人を特定できない情報（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-info）を公開する。またはGoogleのパートナー（サイト運営者、広告主、デベロッパー、権利者など）と共有することがある。たとえば、Googleサービスの一般的な利用傾向がわかる（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-trends）情報を公開する。また、特定のパートナー（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-specific-partners）に、広告および測定の目的でパートナー自身のCookieや類似の技術を使用してユーザーのブラウザまたはデバイスから情報を収集することを許可している。 Googleが合併、買収、または資産譲渡の対象となった場合、引き続きユーザーの個人情報の機密性が保持されるよう取り計らい、個人情報が譲渡される前、または別のプライバシーポリシーの適用を受けようとする前に、対象のユーザーに通知する。 	<p>ユーザーは、Googleのサービスを利用されるときに、下記の内容が明記されたプライバシーポリシーに同意の上で、利用を開始される。下記プライバシーポリシー該当箇所をご参照ください。</p> <p>Googleは、以下の場合を除いて、ユーザーの個人情報をGoogle以外の企業、組織、個人と共有することはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーの同意を得た場合 Googleは、ユーザーの同意を得た場合に、Google以外の者と個人情報を共有します。機密性の高い個人情報（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-sensitive-info）を共有する場合は、ユーザーに明示的な同意を求めます。 外務関係の場合 Googleは、Googleの関連会社およびその他の信頼できる企業または個人に対し、個人情報をGoogleのために処理させる目的で当該個人情報を提供する。その場合、当該関連会社、企業、または個人は、Googleのプライバシーポリシーならびにその他の適切な機密保持およびセキュリティの方策に従って当該処理を行います。たとえば、Googleではカスタマーサポートのサービスを「プロバイダー」に委託することがあります。 法律上の理由の場合 Googleは、個人情報を公開する。またはGoogleのパートナー（サイト運営者、広告主、デベロッパー、権利者など）と共有することがある。たとえば、Googleサービスの一般的な利用傾向がわかる（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-trends）情報を公開する。また、特定のパートナー（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&footnote-specific-partners）に、広告および測定の目的でパートナー自身のCookieや類似の技術を使用してユーザーのブラウザまたはデバイスから情報を収集することを許可しています。 Googleが合併、買収、または資産譲渡の対象となった場合、Googleは引き続きユーザーの個人情報の機密性が保持されるよう取り計らい、個人情報が譲渡される前、または別のプライバシーポリシーの適用を受けようとする前に、対象のユーザーに通知する。
1-4. 広告ビジネスモデルへの利用者情報の活用状況	<p>Googleはユーザーから共有されたデータをもとにGoogleのサービスを提供、維持、改善し、新しいサービスを開発している。ユーザー自身によるプライバシー管理によって、パーソナライズされたコンテンツ、広告を含めたサービスの提供に利用することができるようになる。Googleアカウントにサインインし、アクティビティ管理のページから、ウェブとアプリのアクティビティをオンにする。Googleはユーザーに対しパーソナライズされた広告やサービスの推薦に基づき表示することがある。例えば、「マウンテンバイク」と検索すると、ユーザーはGoogleから提供された広告を表示するサイトを見るときスポーツ用品の広告を目にするかもしれない。Googleがユーザーに広告を出すために利用する情報は、広告設定（https://adssettings.google.com/authenticated）からユーザー自身で管理することができ、また、ユーザーは広告主からの情報に基づいてパーソナライズ広告を目にすることがあるかもしれない。例えば、広告主のサイトで商品を購入したのであれば、広告主はサイトを訪問した情報を利用して広告を表示することができます。</p> <p>データが広告においてどのように収集、利用されるのかについては下記リンクを参照。 プライバシーポリシー（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&whycol1） パーソナライズド広告（https://support.google.com/ads/policy/answer/1434657?pr=privol_p13nad&visit_id=637545784792993386-2692730420&rd=1） 広告が表示される理由（https://support.google.com/ads/answer/1634057?pr=privol_whyad&hl=ja&visit_id=637545784792993386-2692730420&rd=1）</p>	<p>Googleはユーザーから共有されたデータをもとにGoogleのサービスを提供、維持、改善し、新しいサービスを開発しています。ユーザーご自身によるプライバシー管理によって、パーソナライズされたコンテンツ、広告を含めたサービスの提供に利用することができるようになる。Googleアカウントにサインインし、アクティビティ管理のページから、ウェブとアプリのアクティビティをオンにする。Googleはユーザーに対しパーソナライズされた広告やサービスの推薦に基づき表示することがあります。例えば、「マウンテンバイク」と検索すると、ユーザーはGoogleから提供された広告を表示するサイトを見るときスポーツ用品の広告を目にするかもしれません。Googleがユーザーに広告を出すために利用する情報は、広告設定（https://adssettings.google.com/authenticated）からユーザーご自身で管理することができ、また、ユーザーは広告主からの情報に基づいてパーソナライズ広告を目にすることがあるかもしれません。例えば、広告主のサイトで商品を購入したのであれば、広告主はサイトを訪問した情報を利用して広告を表示することができます。</p> <p>データが広告においてどのように収集、利用されるのかについては下記リンクよりご確認ください。 プライバシーポリシー（https://policies.google.com/privacy/hij=ja&whycol1） パーソナライズド広告（https://support.google.com/ads/policy/answer/1434657?pr=privol_p13nad&visit_id=637545784792993386-2692730420&rd=1） 広告が表示される理由（https://support.google.com/ads/answer/1634057?pr=privol_whyad&hl=ja&visit_id=637545784792993386-2692730420&rd=1）</p>
1-5. 利用者のプロファイリング・セグメント化状況	<p>Googleは収集した情報を、パーソナライズド広告に同意するユーザーにおいて、おすすめの提供、コンテンツのパーソナライズ化、検索結果のカスタマイズを目的としてGoogleのサービスをカスタマイズするために利用する。セキュリティ診断のツールでは、利用するGoogleの製品ごとにセキュリティ設定のヒントを提供している。</p> <p>ユーザーの設定によって、ユーザーは個人に基づいてパーソナライズド広告を目にすることがある。例えば、「マウンテンバイク」と検索すると、ユーザーはGoogleから提供された広告を示すサイトを見るときスポーツ用品の広告を目にするかもしれない。ユーザーは広告設定（https://adssettings.google.com/authenticated）より管理することが可能。広告設定のページにおいて、ユーザーには以下の点が通知されている。「広告」は、Googleアカウントに追加された個人情報、Googleのサービスを利用しての広告主から提供されるデータ、Googleが確定した興味・関心に基づいて表示されます。」</p> <p>ユーザーは、人種、宗教、性的指向、健康のようなセンシティブな情報に基づいてパーソナライズド広告が示されることはない。また、名前やメールアドレスのようなユーザーを個人的に特定する情報をユーザー本人の求めがない限り広告主に共有しない。</p> <p>詳細については、下記を参照。 プライバシーポリシー（https://policies.google.com/privacy/whycol1） パーソナライズド広告（https://support.google.com/ads/policy/answer/1434657?pr=privol_p13nad&visit_id=637545784792993386-2692730420&rd=1）</p>	<p>Googleは収集した情報を、パーソナライズド広告に同意するユーザーにおいて、おすすめの提供、コンテンツのパーソナライズ化、検索結果のカスタマイズを目的としてGoogleのサービスをカスタマイズするために利用する。セキュリティ診断のツールでは、利用するGoogleの製品ごとにセキュリティ設定のヒントを提供しています。</p> <p>ユーザーの設定によって、ユーザーは個人に基づいてパーソナライズド広告を目にすることがあります。例えば、「マウンテンバイク」と検索すると、ユーザーはGoogleから提供された広告を示すサイトを見るときスポーツ用品の広告を目にするかもしれません。ユーザーは広告設定より管理することができ、また、ユーザーは広告設定（https://adssettings.google.com/authenticated）のページにおいて、ユーザーには以下の点が通知されています。「広告」は、Googleアカウントに追加された個人情報、Googleのサービスを利用しての広告主から提供されるデータ、Googleが確定した興味・関心に基づいて表示されます。」</p> <p>ユーザーは、人種、宗教、性的指向、健康のようなセンシティブな情報に基づいてパーソナライズド広告が示されることはありません。また、名前やメールアドレスのようなユーザーを個人的に特定する情報をユーザー本人の求めがない限り広告主に共有しません。</p> <p>詳細については、下記よりご確認ください。 プライバシーポリシー（https://policies.google.com/privacy/whycol1） パーソナライズド広告（https://support.google.com/ads/policy/answer/1434657?pr=privol_p13nad&visit_id=637545784792993386-2692730420&rd=1）</p>
2. 利用規約・プライバシーポリシー	<p>2-1. 利用者情報の取扱いに係るプライバシーポリシーの内容、掲載場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 「プライバシーポリシー」について、できるだけわかりやすく伝えられるよう、具体例、説明動画、主な用語の定義を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> Googleは、大勢の人々が日常的に新しい方法で世界について知り、世界の人々とコミュニケーションをとることを支援するさまざまなサービスを開発しています。Googleのサービスは、プライバシーポリシーについて、できるだけわかりやすくお伝えできるよう、具体例、説明動画、主な用語の定義を提示しております。詳細については、下記よりご確認ください。 プライバシーポリシー（https://policies.google.com/privacy/whycol1）
2-2. サービス利用開始前の利用者への示し方、通知/同意取得の方法（路線等）	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーがGoogleアカウントを作成する際、プライバシーポリシーへのリンクとプライバシーに関する選択、及びアカウント作成の流れ自体に関する明確な説明が示される。ユーザーはアカウント作成後いつでもプライバシーポリシーにアクセスしたり、設定を変更することができます。 アカウント設定の流れには、プライバシーポリシーの概要も含まれる。したがって、新たなアカウントを作成するすべてのユーザーがプライバシーポリシーの概要を閲覧することとなる。この方法は、プライバシー監視機能（100）を含むデータ保護当局との協議を経て採用された。 アカウント作成の流れの最後に、ユーザーは、利用規約への同意を示すチェックボックスと別の、「上述の【すなわち、ユーザーが選択した設定による】ユーザー情報の処理」に対する同意を示すチェックボックスにチェックすることを求められ、アカウント作成プロセス終了前にさらにプライバシーポリシーの説明が表示される。 アカウント作成時には、ユーザーにいくつかのプライバシー設定が提示され、特定の処理について説明されるとともに、パーソナライズド広告への同意など、ユーザーが選択をおこなう機会が提供される。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーがGoogleアカウントを作成する際、プライバシーポリシーへのリンクとプライバシーに関する選択、及びアカウント作成の流れ自体に関する明確な説明が示されます。ユーザーはアカウント作成後いつでもプライバシーポリシーにアクセスしたり、設定を変更することができます。 アカウント作成の流れには、プライバシーポリシーの概要も含まれます。したがって、新たなアカウントを作成するすべてのユーザーがプライバシーポリシーの概要を閲覧することとなります。この方法は、プライバシー監視機能（100）を含むデータ保護当局との協議を経て採用された。 アカウント作成の流れの最後に、ユーザーは、利用規約への同意を示すチェックボックスと別の、「上述の【すなわち、ユーザーが選択した設定による】ユーザー情報の処理」に対する同意を示すチェックボックスにチェックすることを求められ、アカウント作成プロセス終了前にさらにプライバシーポリシーの説明が表示されます。 アカウント作成時には、ユーザーにいくつかのプライバシー設定が提示され、特定の処理について説明されるとともに、パーソナライズド広告への同意など、ユーザーが選択をおこなう機会が提供されます。
2-3. 変更に関する通知/同意取得の方法	<ul style="list-style-type: none"> 最終更新日時を常に表示し、旧バージョンもユーザーが参照できるようにアーカイブに保存している。 一部のサービスについてはメールで知らせるなど、重要な変更についてはより明確な方法で告知している。 ユーザーによる明示的な同意なくポリシーに基づくユーザーの権利を縮小することはない。 	<ul style="list-style-type: none"> Googleでは、プライバシーポリシーに記載しているとおり、ユーザーへの変更通知は状況に応じて様々な方法で行っています。Googleは、最終更新日時を常に表示し、旧バージョンもユーザーが参照できるようにアーカイブに保存しています。一部のサービスについてはメールでお知らせするなど、重要な変更についてはより明確な方法で告知しています。Googleはプライバシーポリシーを遵守することを強く促し、ユーザーによる明示的な同意なくポリシーに基づくユーザーの権利を縮小することはありません。
2-4. 利用開始後（最初の同意・通知後）における、定期的な通知等の工夫	<ul style="list-style-type: none"> Googleアカウントに保存される情報を管理し、プライバシーとセキュリティの設定を見直し、かつ、自身の意向に合わせて調整することを、ユーザーに推奨している。アカウントの作成の最後の段階において、ユーザーは、アカウントのカスタム設定に関する通知を受け取りたいかどうかに関して、チェックボックスで選択することができ、ヘルプページや、サイバーセキュリティ月間やセーフティネット等に合わせて取り組みなどを通じて、ユーザーへの周知を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> Googleは、Googleアカウントに保存される情報を管理し、プライバシーとセキュリティの設定を見直し、かつ、自身の意向に合わせて調整することを、ユーザーに推奨しています。アカウントの作成の最後の段階において、ユーザーは、アカウントのカスタム設定に関する通知を受け取りたいかどうかに関して、チェックボックスで選択することができます。また、Googleは、ヘルプページや、サイバーセキュリティ月間やセーフティネット等に合わせて取り組みなどを通じて、ユーザーへの周知を行っています。
2-5. 透明性確保のための工夫	<p>2-5. 利用者情報の取扱いを分かりやすくするための考え方、工夫や対応（利用者への働きかけや情報提供、ユーザーテストの実施等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーの理解を高めるため、Googleのプライバシーポリシーでは、画像やアニメーション動画及び主要なコンセプトをわかりやすくハイライトした説明を行っています。 Googleは、プライバシーとセキュリティの設定を確認及び調整し、自動削除などのツールを利用することなど、ユーザー自身がGoogleアカウントに保存されている情報を管理しやすくなることを推奨しています。 ユーザーに対してヘルプページやセーフティネット等々に合わせた取り組みを通じて、これらを伝えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーの理解を高めるため、Googleのプライバシーポリシーでは、画像やアニメーション動画及び主要なコンセプトをわかりやすくハイライトした説明を行っています。 Googleは、プライバシーとセキュリティの設定を確認及び調整し、自動削除などのツールを利用することなど、ユーザーご自身がGoogleアカウントに保存されている情報を管理しやすくなることを推奨しています。 Googleは、ユーザーに対してヘルプページやセーフティネット等々に合わせた取り組みを通じて、これらを伝えています。
2-6. 同意取得/通知に際しての、利用規約やプライバシーポリシーを理解しやすくするための工夫（簡易的アプローチ、ダッシュボード、ジャストインタイム、アイコン、モバイル及びスマートデバイスのための利用等）	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーのエンゲージメントに影響を与えるGoogleのプライバシーポリシーの項目のうち、2018年のプライバシーポリシーの最新版を設計する際に考慮した要素は以下の通り。 デザインはシンプルで読みやすい。明確な見出し、簡単なナビゲーション、オーバーレイなど、ユーザーが探しているものを見つけやすくするために、プライバシーポリシーを再設計・再構成した。 わかりやすさ：プライバシーポリシーに、より明確な表現と詳細な説明を導入した。また、説明用の動画や図を追加し、文字による説明に加えて、よりわかりやすい視覚的な情報を提供している。 透明性と管理：ユーザーがプライバシーポリシーを読んだ際に、すぐユーザーがプライバシー設定を変更できるように設定に直接アクセスできるリンクを提供することで、設定変更を容易にした。 	<ul style="list-style-type: none"> Googleは、有識者や規制当局に対しGoogleの説明責任を果たすために、Googleのデータ慣行を包括的に正確に記載する必要性とのバランスを取りながら、ユーザーの関心を最大限に高めるプライバシーポリシーの作成に多大な資源を投入してきました。また、Googleは、プライバシーポリシーの範囲外でも、ユーザーが自ら同意したプライバシーに与える影響を理解できるように、Googleの製品で同意を管理する機会を追加することで、プライバシーに関するユーザーの関心を高める方法を模索しています。 ユーザーのエンゲージメントに影響を与えるGoogleのプライバシーポリシーの項目のうち、2018年のプライバシーポリシーの最新版を設計する際にGoogleが考慮した要素は以下の通りです。 デザインはシンプルで読みやすい。明確な見出し、簡単なナビゲーション、オーバーレイなど、ユーザーが探しているものを見つけやすくするために、プライバシーポリシーを再設計・再構成しました。 わかりやすさ：Googleは、プライバシーポリシーに、より明確な表現と詳細な説明を導入しました。また、説明用の動画や図を追加し、文字による説明に加えて、よりわかりやすい視覚的な情報を提供しています。 透明性と管理：Googleは、ユーザーがプライバシーポリシーを読んだ際に、すぐユーザーがプライバシー設定を変更できるように設定に直接アクセスできるリンクを提供することで、設定変更を容易にしました。
2-7. 利用者情報の提供を希望しない意思を示すオプトアウトの設置状況（方法、対象範囲等含む）	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーは、Googleアカウントを作成する際に、Googleと共有する情報を選択することができます。同時に、アカウント、プライバシー、セキュリティに関するいくつかの重要な設定管理項目が提示される。アカウント作成後、ユーザーは、https://myaccount.google.com/にあるGoogleアカウントの一括管理用ダッシュボードを通じて、いつでもGoogleアカウント設定を確認し変更することができます。このツールは、デスクトップおよびモバイルのデバイス上のあらゆるブラウザを通じて使用できます。 ユーザーはアカウントダッシュボードにアクセスして、特定の設定ボタンをONまたはOFFにすることができ（オプトアウトとオプトイン）。例えば、ロケーション履歴は、ユーザーがサインインしたデバイスを持って訪れた場所に関する情報をGoogleアカウント上に保存する。これは、位置情報を収集し保存する方法であり、位置情報は、Googleマップ、フォト、検索を含む、Googleの製品とサービスを使用するユーザーは、これらについても無効にでき（オプトアウト）、無効にした後も、Googleマップ、フォト、検索を含むGoogleの製品とサービスを使い続けることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーは、Googleアカウントを作成する際に、Googleと共有する情報を選択することができます。同時に、アカウント、プライバシー、セキュリティに関するいくつかの重要な設定管理項目が提示されます。アカウント作成後、ユーザーは、https://myaccount.google.com/にあるGoogleアカウントの一括管理用ダッシュボードを通じて、いつでもGoogleアカウント設定を確認し変更することができます。このツールは、デスクトップおよびモバイルのデバイス上のあらゆるブラウザを通じて使用できます。 Googleのユーザーはアカウントダッシュボードにアクセスして、特定の設定ボタンをONまたはOFFにすることができます（オプトアウトとオプトイン）。例えば、ロケーション履歴は、ユーザーがサインインしたデバイスを持って訪れた場所に関する情報をGoogleアカウント上に保存します。これは、位置情報を収集し保存する方法であり、位置情報は、Googleマップ、フォト、検索を含む、Googleの製品とサービスを使用するユーザーは、これらについても無効にでき（オプトアウト）、無効にした後も、Googleマップ、フォト、検索を含むGoogleの製品とサービスを使い続けることができます。
2-8. オプトアウトをした場合のサービス利用継続の可否	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーは、これらについても無効にでき（オプトアウト）、無効にした後も、Googleマップ、フォト、検索を含むGoogleの製品とサービスを使い続けることができます。 	
2-9. 利用者情報の提供について個別に選択できるダッシュボード等の設置状況（方法、対象範囲等含む）	<ul style="list-style-type: none"> 2-7参照 	

2-10. オプトアウトに関する通知事項、導線		<p>Googleでは、詳細なプライバシーポリシーを作成・公表しており、ユーザーのデータの取扱い方法や、Googleのプラットフォーム及びサービスにおいてユーザーのデータとプライバシーを保護するためにGoogleが講じている対策をユーザーにお知らせしています。</p> <p>Googleは、Googleが収集する情報の種類、データを収集する理由、ユーザーが自身の情報を更新、管理、ダウンロード、及び削除する方法をユーザーが理解しやすいように、利用しやすく、透明な方法を開発しています。Googleが safety.google/privacy/data等のリソースを開発した理由は、ユーザーの情報は保護されており、適切に管理されていることをユーザーにご理解いただきたりからです。さらに、できるだけわかりやすくお伝えできるように、具体例、説明動画、及び主な用語の定義を追加して、ユーザーがGoogleの情報の取扱いに関するブラウクスにアクセスできるようにしています。</p> <p>Googleでは、ユーザー自身のデータの閲覧・削除を容易にしています。ユーザーが、どのデータを保存し、共有し、又は削除するかについて、情報を得た上で選択できるように、Googleが収集するデータの種類、及びデータを収集する理由を理解しやすいうにしています。例えば、ユーザーは、自身のGoogleアカウントのダッシュボードにアクセスして、利用しているGoogleのプラットフォーム、及び保存されているデータの概要を見ることができます。また、「マイ アクティビティ」を使えば、ユーザーは自身のGoogleアカウントから直接データを見たり削除したりすることが容易に行えます。特に検索については、ユーザーに対して、検索履歴を閲覧又は削除できる方法をわかりやすく説明しています。</p> <p>Googleは、ChromeのIncognitoモード、検索、YouTube、マップ等のプライバシー保護機能に加えて、プライバシー診断ツールも開発して、ユーザーがGoogleアカウントに保存されるデータの種類をわずかな時間で選択できるようにしました。ユーザーは、これらの設定を希望するだけ何回でも変更することができます。</p> <p>ユーザーはいつでも、Google アカウントに保存されたデータの概要を表示 (https://myaccount.google.com/dashboard) し、データをダウンロードすることができます。</p> <p>Google アカウントに一定期間保存されたアクティビティを自動的に削除 (https://support.google.com/accounts/answer/465#auto-delete) するように選択できます。また、いつでも手動でアクティビティを削除 (https://support.google.com/accounts/answer/465) できます。</p> <p>Googleが使用する匿名化手法 (https://policies.google.com/technologies/anonymousization) により、個人に関連付けられないデータが作成されます。</p> <p>最後に、Googleがプライバシーポリシーに記載していない目的のためにユーザーの情報を活用する場合は、事前にユーザーの同意を求めます。</p>
2-11. データポータビリティに関する取組 (データポータビリティを求める方法、対象範囲)	<p>Google Takeoutは、ユーザーにデータポータビリティに関する管理権限を提供している。ユーザーは、Google に保存した自身のデータの最新版のコピーを自身のコンピュータにダウンロードしたり、サードパーティのプラットフォームに直接ポーティングすることができます。</p>	<p>Google Takeout は、ユーザーにデータポータビリティに関する管理権限を提供しています。ユーザーは、Google に保存した自身のデータの最新版のコピーを自身のコンピュータにダウンロードしたり、サードパーティのプラットフォームのサイトに直接ポーティングすることができます。</p> <p>Google は、10年以上前からデータポータビリティについて準備し、2011年からポータビリティ製品を提供してきました。Google はこの課題について、常に先取りして対策を講じてきました。ユーザーは複数のサービスの中から新たなサービスを試すか、あるいは製品を選択できるように、その結果、サービス間の競争が促進されます。</p>
2-12. データポータビリティが可能である場合 ・提供されるデータのフォーマット ・提供先の要件 ・インターオペラビリティ確保に関する考慮状況	<p>ユーザーは、製品、データの種類の、用途に応じて選択できるさまざまな業界標準のフォーマットで、自身のデータをエクスポートできる。例えばGoogleドライブから、Googleドキュメントの文書を.docxファイルとしてエクスポートし、Microsoft Officeで簡単に使うことができます。データを複数のフォーマットでダウンロードできるようにすることで、フレキシビリティを最大化し、利用者自身のデータ活用方法の選択肢を広げている。</p> <p>Data Transfer Project (DTP) は、プロバイダー間における直接のデータ転送を可能にする。DTPは、データポータビリティへのユーザーのアクセスを拡大するために、業界のパートナーと協力してインシニアプで、どの企業も安全で拡張性のある直接データポータビリティソリューションを構築できるようなものである。このプロジェクトは、2つの製品/インターフェース間で、データを直接インポートおよびエクスポートする機能を可能にする。</p>	<p>ユーザーは、製品、データの種類の、用途に応じて選択できるさまざまな業界標準のフォーマットで、自身のデータをエクスポートできます。例えばGoogleドライブから、Googleドキュメントの文書を.docxファイルとしてエクスポートし、Microsoft Officeで簡単に使うことができます。データを複数のフォーマットでダウンロードできるようにすることで、フレキシビリティを最大化し、利用者自身のデータ活用方法の選択肢を広げている。</p> <p>Data Transfer Project (DTP) は、Googleが2018年に、世界中の人々が簡単に利用できるデータポータビリティの提供を目指して、他社と連携してオープンソースの構築を行うべく立ち上げた。プロバイダー間における直接のデータ転送の実現を目指して、直接転送できないと、利用者がデータの複製を新たなプロバイダーへ移行したい場合、データを個人用デバイスに一旦ダウンロードした後、新しいプロバイダーへ再アップロードしなければなりません。世界の消費者は、保存容量が限られた個人用デバイス、高価なデータ回収費用といったデータ移行を困難にしかねないインフラ面での制約に直面しています。ユーザーの管理権限と選択権を最大化するために、データポータビリティは、より包括的な転送を可能にします。ユーザーは、DTPにより低コストでデータのアップロードやダウンロードを行うことによる多額の個人支出を強いられることはありませんが、このことは、新興国の人々や低所得、従量制の接続環境にある人にとって、特に重要です。</p>
2-13. 個人情報保護法に基づく開示請求への対応状況 (電磁的な開示の実施状況、開示請求の方法、提供フォーマット等)	<p>Googleアカウントには、使用しているGoogleのサービス、メールや写真などの保存データの概要を確認できるダッシュボードがある。また、Googleアカウントには、Googleのサービス全般を通じて検索、閲覧、視聴などのアクティビティから収集されたデータを簡単に確認し、削除できるツールであるマイアクティビティも提供している。</p> <p>過去のオンライン上のアクティビティを簡単に振り返ることができるよう、トピック、日付、サービスで検索できるツールを用意しており、ユーザーは「データをダウンロード」からアカウントに保存されたデータのコピーにアクセスするが、プライバシーに関するトータルシチュエーションまたは「Googleプライバシーヘルプセンター」からアクセス可能な「データへのアクセス権をリクエスト」のフォームを送信することができる。</p> <p>また (上記のツールで対応できない場合)、適用されるプライバシー関連法に基づいて利用者からの要求があった場合、デジタルフォーマットで情報を開示する。</p>	<p>Googleは従前から、ユーザーが自身の情報にアクセスしたり削除するための堅牢で使いやすいツールを提供してきました。これらのツールを、さらに堅牢かつ直観的に使用できる方法を引き続き構築しています。</p> <p>Googleのプライバシー設定と管理の中心であるGoogleアカウントには、使用しているGoogleのサービス、メールや写真などの保存データの概要を確認できるダッシュボードがあります。また、Googleアカウントには、Googleのサービス全般を通じて検索、閲覧、視聴などのアクティビティから収集されたデータを簡単に確認し、削除できるツールであるマイアクティビティも提供しています。</p> <p>過去のオンライン上のアクティビティを簡単に振り返ることができるよう、トピック、日付、サービスで検索できるツールを用意しており、ユーザーは「データをダウンロード」からアカウントに保存されたデータのコピーにアクセスするが、プライバシーに関するトータルシチュエーションまたは「Googleプライバシーヘルプセンター」からアクセス可能な「データへのアクセス権をリクエスト」のフォームを送信することができます。</p> <p>また、Googleは、個人情報保護法に基づくユーザーからの要求に対応するために、メールエイリアス (appi-inquiries-external@google.com) を設定し、プライバシーポリシーに関する日本のユーザーへの法定開示事項においてこれを公表しています。</p>
3. 他アプリやサイトを經由した情報収集の状況		
3-1. 他アプリやサイトを經由した情報収集の状況	<p>ユーザーが同意した場合、Googleのサービスへのアクセスに使用したアプリ、ブラウザ、およびデバイスに関する情報を収集する。収集する情報には、固有 ID (https://policies.google.com/privacy?hl=ja&footnote=unique-id)、ブラウザの種類および設定、デバイスの種類および設定、オペレーティングシステム、モバイルネットワークに関する情報 (携帯通信事業者名や電話番号など)、アプリケーションのバージョン番号などが含まれる。また、Googleのサービスとユーザーのアプリ、ブラウザ、およびデバイスの間の通信に関する情報 (携帯通信事業者名や電話番号など、アプリケーションのバージョン番号など) も含まれる。また、Googleのサービスとユーザーのアプリ、ブラウザ、およびデバイスの間の通信に関する情報 (携帯通信事業者名や電話番号など、アプリケーションのバージョン番号など) も含まれる。また、Googleのサービスとユーザーのアプリ、ブラウザ、およびデバイスの間の通信に関する情報 (携帯通信事業者名や電話番号など、アプリケーションのバージョン番号など) も含まれる。</p> <p>信頼できるパートナーからユーザーに関する情報の提供を受けることもある。たとえば、マーケティングパートナーから Google のビジネス サービスのマーケティングサイトに関する情報の提供を受けたり、セキュリティパートナーから不正使用防止 (https://policies.google.com/privacy?hl=ja&footnote=against-abuse) のための情報の提供を受けることがある。また、広告主から、広告やリサーチのサービスをその広告主に提供するための (https://policies.google.com/privacy?hl=ja&footnote=ad-services) 情報の提供を受けることがある。</p> <p>これらすべて、プライバシーポリシーに明記している。</p>	<p>この質問は、他の第三者企業から情報を提供される可能性がある状況について説明を求められていると理解し、下記回答いたします。</p> <p>Googleは、ユーザーが同意した場合、Googleのサービスへのアクセスに使用したアプリ、ブラウザ、およびデバイスに関する情報を収集します。Googleが収集する情報には、固有 ID (https://policies.google.com/privacy?hl=ja&footnote=unique-id)、ブラウザの種類および設定、デバイスの種類および設定、オペレーティングシステム、モバイルネットワークに関する情報 (携帯通信事業者名や電話番号など)、アプリケーションのバージョン番号などが含まれます。また、Googleのサービスとユーザーのアプリ、ブラウザ、およびデバイスの間の通信に関する情報 (携帯通信事業者名や電話番号など、アプリケーションのバージョン番号など) も含まれます。また、Googleのサービスとユーザーのアプリ、ブラウザ、およびデバイスの間の通信に関する情報 (携帯通信事業者名や電話番号など、アプリケーションのバージョン番号など) も含まれます。</p> <p>信頼できるパートナーからユーザーに関する情報の提供を受けることもあります。たとえば、マーケティングパートナーから Google のビジネス サービスのマーケティングサイトに関する情報の提供を受けたり、セキュリティパートナーから不正使用防止 (https://policies.google.com/privacy?hl=ja&footnote=against-abuse) のための情報の提供を受けることがあります。また、広告主から、広告やリサーチのサービスをその広告主に提供するための (https://policies.google.com/privacy?hl=ja&footnote=ad-services) 情報の提供を受けることがあります。</p> <p>これらすべて、プライバシーポリシーに明記しております。</p>
3-2. 他アプリ提供者やサイト運営者に対し、どのような同意取得や通知を促しているか	<p>例えばGoogle Playでは、アプリとゲームがユーザーのデバイス上でアクセスしようとするデータについて、ユーザーが十分な情報を得た上で判断できるように支援している。その一環として、以前から、デベロッパー、Google Playストアのアプリ一覧で、どのように個人情報を収集し使用しているかを開示することを義務付けてきた。2015年にAndroid Marshmallowを公開した際には、ユーザーがいつでも、自身のデバイスでこまめに許可を確認、付与、拒否できるランタイム権限を導入した。</p>	<p>例えばGoogle Playでは、アプリとゲームがユーザーのデバイス上でアクセスしようとするデータについて、ユーザーが十分な情報を得た上で判断できるように支援しています。その一環として、以前から、デベロッパー、Google Playストアのアプリ一覧で、どのように個人情報を収集し使用しているかを開示することを義務付けてきました。2015年にAndroid Marshmallowを公開した際には、ユーザーがいつでも、自身のデバイスでこまめに許可を確認、付与、拒否できるランタイム権限を導入しました。</p>
3-3. (旧) JavaScript の取扱い状況 (後から情報取得内容が変更されることについて、他アプリ提供者やサイト運営者にどのように伝えているか)	<p>データに関してパートナーとどのようにやり取りしているのかについては、プライバシーポリシーに規定。</p>	
3-3. (新) 情報収集モジュールやJavaScriptの他アプリ提供者やサイト運営者への提供による利用者情報の外部送信の状況		<p>本質問はGoogleがデータに関してパートナーとどのようにやり取りしているのかという質問であると理解しております。Googleのプライバシーポリシーに規定されており。</p>
3-4. 3-3に該当する場合、他アプリ提供者やサイト運営者への情報提供状況		
3-5. 情報収集モジュールやJavaScriptについて、送信される情報の内容や送信先の変更等		
3-6. 複数の他アプリやサイトから利用者情報を収集している場合の、情報管理状況	<p>収集したデータを、データの内容、データの用途、ユーザーの設定内容に応じてそれぞれ異なる一定期間保持する。</p> <p>収集するデータには、ユーザーがいつでも削除できるもの (ユーザーが作成またはアップロードしたコンテンツなど) がある。ユーザーは、アカウントに保存されているアクティビティ情報を削除できる。また、一定期間後に自動的に削除されるものも設定することができる。</p> <p>その他のデータ (サーバーログ内の広告データ (https://policies.google.com/technologies/ads?hl=ja) など) は、一定期間後に自動的に削除され、匿名化される。</p> <p>サービスの使用頻度に関する情報など一部のデータは、ユーザーがGoogleアカウントを削除するまでGoogleが保持する。</p> <p>セキュリティ、詐欺および盗用の防止、取引記録の保持など、正当な業務上または法律上の目的のために必要に応じて他のデータよりも長期保持するデータもある。</p>	<p>Googleは収集したデータを、データの内容、データの用途、ユーザーの設定内容に応じてそれぞれ異なる一定期間保持します。</p> <p>Googleが収集するデータには、ユーザーがいつでも削除できるもの (ユーザーが作成またはアップロードしたコンテンツなど) があります。ユーザーは、アカウントに保存されているアクティビティ情報を削除できます。また、一定期間後に自動的に削除されるものも設定することができます。</p> <p>その他のデータ (サーバーログ内の広告データ (https://policies.google.com/technologies/ads?hl=ja) など) は、一定期間後に自動的に削除され、匿名化されます。</p> <p>サービスの使用頻度に関する情報など一部のデータは、ユーザーがGoogleアカウントを削除するまでGoogleが保持します。</p> <p>セキュリティ、詐欺および盗用の防止、取引記録の保持など、正当な業務上または法律上の目的のために必要に応じて他のデータよりも長期保持するデータもあります。</p>
4. 他社へのデータ提供、他社との連携の状況		
4-1. 他社に対する、取得した利用者情報・位置情報に基づくデータ提供の内容、提供に関する留意点 (ユーザーへの説明、他社の監督、安全管理など)	<p>Google以外の者との個人情報共有に関するGoogleのポリシーは、Googleのプライバシーポリシーの「ご自分の情報の共有」の項に記載されています。Googleのプライバシーポリシーは、あらゆる種類の個人情報の取り扱いに第三者にグローバルに適用される。</p> <p>以下の場合を除いて、ユーザーの個人情報をGoogle以外の企業、組織、個人と共有することはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーの同意を得た場合 トランプ ドメイン管理者の場合 <p>Googleサービスを使用する組織の従業員または学生の場合、使用しているGoogleアカウントには、アカウントを管理するドメイン管理者および販売パートナーがアクセスできる。ドメイン管理者および当該販売パートナーは次のことを行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーのアカウントに保存された情報 (メールなど) にアクセスし、その情報を保持すること。 ユーザーのアカウントに関する統計情報 (ユーザーがインストールしたアプリの数など) を表示すること。 ユーザーのアカウントのパスワードを変更すること。 ユーザーのアカウントのパスワードを変更する。 ユーザーのアカウントのアクセス権を一時的に停止または停止すること。 適用される法律、規制、法的手続き、または強制力のある政府機関の要請に応じ、ユーザーのアカウント情報を受け取ること。 <p>ご自分の情報またはプライバシー設定の削除/編集を行うユーザーの権限を制限すること。</p> <p>外部処理の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> トランプ Googleは、個人情報にアクセスできる担当者、その情報の処理のためにその情報を必要とするGoogleの社員、請負業者または業務委託先、および代理人に限定している。内部ツールへのアクセスは厳重に管理されており、システムの利用に対してはゼロ・トレランス・ポリシーを適用している。従業員であるか否かを問わず、当該担当者はいずれも、厳格な契約上の守秘義務を負っており、当該義務を履行しなかった場合は懲戒処分または契約解除の対象となる可能性がある。 法律上の理由の場合 	<p>Google以外の者との個人情報共有に関するGoogleのポリシーは、Googleのプライバシーポリシーの「ご自分の情報の共有」の項に記載されています。Googleのプライバシーポリシーは、あらゆる種類の個人情報の取り扱いに第三者にグローバルに適用されます。</p> <p>Googleは、以下の場合を除いて、ユーザーの個人情報をGoogle以外の企業、組織、個人と共有することはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーの同意を得た場合 <p>Googleは、ユーザーの同意を得た場合に、Google以外の者との個人情報を共有します。たとえば、ユーザーがGoogle Homeから予約サービスでレストランを予約した場合、ユーザーの許可を得たうえでユーザーのお名前や電話番号をレストランと共有します。セキュリティの高い個人情報を共有する場合は、ユーザーに明示的な同意を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドメイン管理者の場合 <p>Googleサービスを使用する組織の従業員または学生の場合、お使いのGoogleアカウントには、アカウントを管理するドメイン管理者および販売パートナーがアクセスできます。</p> <p>ドメイン管理者および当該販売パートナーは次のことを行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーのアカウントに保存された情報 (メールなど) にアクセスし、その情報を保持すること。 ユーザーのアカウントに関する統計情報 (ユーザーがインストールしたアプリの数など) を表示すること。 ユーザーのアカウントのパスワードを変更すること。 ユーザーのアカウントのパスワードを変更する。 ユーザーのアカウントのアクセス権を一時的に停止または停止すること。 適用される法律、規制、法的手続き、または強制力のある政府機関の要請に応じ、ユーザーのアカウント情報を受け取ること。 <p>ご自分の情報またはプライバシー設定の削除/編集を行うユーザーの権限を制限すること。</p> <p>外部処理の場合</p> <p>Googleは、Googleの関連会社およびその他の信頼できる企業または個人に対し、個人情報をGoogleのために処理させる目的で当該個人情報を提供します。その場合、当該関連会社、企業、または個人は、Googleの指示に基づきGoogleのプライバシーポリシーならびにその他の適切な機密保持およびセキュリティの方策に従って当該処理を行います。たとえば、Googleではカスタマーサポートの提供をサービスプロバイダーに委託することがあります。</p> <p>Googleは、個人情報にアクセスできる担当者、その情報の処理のためにその情報を必要とするGoogleの社員、請負業者または業務委託先、および代理人に限定しています。内部ツールへのアクセスは厳重に管理されており、システムの利用に対してはゼロ・トレランス・ポリシーを適用しています。従業員であるか否かを問わず、当該担当者はいずれも、厳格な契約上の守秘義務を負っており、当該義務を履行しなかった場合は懲戒処分または契約解除の対象となる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 法律上の理由の場合 <p>Googleは、個人情報へのアクセス、使用、保存、または開示が以下の理由で合理的に必要なと判断した場合、その情報をGoogle以外の者と共有します。</p> <p>適用される法律、規制、法的手続きまたは強制力のある政府機関の要請に応じ、政府から受けた要請の数に種類についての情報は、Googleの透明性レポートで開示しています。</p> <p>違反の可能性の調査など、適用される利用規約の遵守義務を定めるため。</p> <p>セキュリティ上の問題について通知、拒否。これはその他の対応を行うため。</p> <p>法律上の義務に応じて、または法律上認められる範囲内で、Google、Googleのユーザー、または一般の人々の権利、財産、または安全に害が及ぶことを防ぐため。</p>
5. サードパーティによる情報取得への対応方針		
5-1. ウェブブラウザやアプリ経由でサードパーティが情報取得することについての方針 (Third Party Cookieや広告ID等の取扱い) ウェブとアプリで方針は同じか異なるか。	<p>第三者とのユーザーの情報共有に関するポリシーは、プライバシーポリシーの「ご自分の情報の共有」に規定されている。プライバシーポリシーはすべてのユーザーデータ及び第三者に対してグローバルに適用される。詳細は1-3参照。</p> <p>ユーザーのデータを匿名化、統計化し個人が特定できない形で第三者と共有することがある。</p>	<p>第三者とのユーザーの情報共有に関するGoogleのポリシーは、Googleのプライバシーポリシーの「ご自分の情報の共有」に規定されています。Googleのプライバシーポリシーはすべてのユーザーデータ及び第三者に対してグローバルに適用されるものです。詳細は上記1-3の記載をご参照ください。</p> <p>Googleは、ユーザーのデータを匿名化、統計化し個人が特定できない形で第三者と共有することがあります。</p>
5-2. フィンガープリント、Unified ID 2.0等のクッキーの代替手段での情報取得の動きについての考え方	<p>プライバシーサンドボックスの重要な目的は、個別ユーザーに関するデータを共有したり秘密に追跡したりする、不透明もしくはユーザーから見えない技術から、人々を保護する技術を開発することである。(これはフィンガープリントとして広く知られている。)</p> <p>一例としては、従来のIPアドレスを悪用して、オプトアウトの知識がない利用者やオプトアウトの選択がない利用者や特定しようとするといった手法があげられる。Chromeは、ウェブサイトの通常の動作を妨げることなく利用者のアイデンティティを保護するために、IPアドレスをマスクする方法の新たな仕様提案として Gnatcatcher (https://github.com/balassay/ip-bi-ndness) を公開した。他の提案仕様と同様に、ウェブコミュニティからのフィードバックに基づき今後改良を継続していく。</p> <p>この点に関するGoogleの考えに関する詳細はhttps://japan.googleblog.com/2021/02/2021-privacy-sandbox.html参照。</p>	<p>すべての個人に開かれたウェブを維持するために、広告是不可欠な要素です。しかし、変化するユーザーのプライバシー保護への期待に応えられなければならない。そのシステムは望ましくない。多くの人はウェブを閲覧する際に身元や情報が安全に保たれることを求めています。</p> <p>Chromeチームではプライバシーサンドボックスをご紹介しました。</p> <p>プライバシーサンドボックスの重要な目的は、個別ユーザーに関するデータを共有したり秘密に追跡したりする、不透明もしくはユーザーから見えない技術から、人々を保護する技術を開発することです。(これはフィンガープリントとして広く知られています。)</p> <p>一例としては、従来のIPアドレスを悪用して、オプトアウトの知識がない利用者やオプトアウトの選択がない利用者や特定しようとするといった手法があげられます。Chromeは、ウェブサイトの通常の動作を妨げることなく利用者のアイデンティティを保護するために、IPアドレスをマスクする方法の新たな仕様提案として Gnatcatcher (https://github.com/balassay/ip-bi-ndness) を公開しました。他の提案仕様と同様に、ウェブコミュニティからのフィードバックに基づき今後改良を継続していきます。</p> <p>この点に関するGoogleの考えに関する詳細はこちら (https://japan.googleblog.com/2021/02/2021-privacy-sandbox.html) よりご確認ください。</p>

5-3. Topicsの導入目的、設計内容		<p>Googleは、ウェブにおけるユーザーのプライバシーを改善しつつ、パブリッシャー、クリエイターや開発者が構築するビジネスを構築するためのツールを提供し、すべての人にとって安全で健全なウェブを守るために、プライバシーサンドボックスというイニシアチブを始めた。Googleは、広告が多くの企業にとって重要であり、また、オンラインの無料コンテンツへのアクセスを支える不可欠な手段であることも理解しています。</p> <p>Googleは、interest-based advertising (興味/関心に基づく広告) における新しいプライバシーサンドボックスの取り組みであるTopicsを1月に発表しました。Topicsは、これまでのFluの開発から得た知見とコミュニティから寄せられたフィードバックに基づいており、Fluに代わるものです。</p> <p>Topicsは、ブラウザが、ユーザーの閲覧履歴に基づいて、たとえば「フィットネス」や「旅行」などといったその週に関心が高い項目（トピック）を少数選びます。これらの項目は、3週間だけ保存され、古い項目は削除されます。項目の選定は、Googleや他の外部サービスは一切せず、完全にユーザーのデバイス上で実行されます。ユーザーがTopicsに参加するサイトにアクセスすると、過去3週間のそれぞれの週から項目を1つずつ、計3つ選び、そのサイト及び広告パートナーに共有されます。Topicsは、ブラウザがこれらのデータに対する重要な透明性と管理を与えることを可能にします。また、Chromeにおいては、項目の表示、不要なデータの削除、機能の無効化を完全にできるようにユーザーコントロールを開発しています。</p> <p>さらに重要な点として、項目は機密に選別されるため、性別や人種などといったセンシティブなカテゴリは含まれません。また、Topicsはブラウザで動作するので、サードパーティCookieなどのトラッキング手法と比べ、自分のデータがどのように共有されているかを確認し、コントロールするためのよりわかりやすい方法を提供します。また、ユーザーが関心を持っている項目をウェブサイトに提供することで、オンライン事業者がフィンガープリンティングのような高匿名性の高いトラッキング技術を使うことなく、適切な広告の配信を継続することができます。</p>
6. アプリ提供マーケット		
6-1. SPIに関する取組状況	<p>Google Playは、アプリやゲームがユーザーのデバイス上でアクセスしようとしているデータについて、ユーザーが十分な情報を得た上で、判断できるような支援に努めている。その取り組みの一環として、Google Playストアのアプリの掲載情報に個人情報収集と使用の方法を明示するよう、デベロッパーの皆様に義務付けている。詳細については、「How Play works」のウェブサイト (https://play.google.com/intl/ja_jp/about/howplayworks/) を参照。</p>	<p>Google Playは、アプリやゲームがユーザーのデバイス上でアクセスしようとしているデータについて、ユーザーが十分な情報を得た上で、判断できるような支援に努めている。その取り組みの一環として、Google Playストアのアプリの掲載情報に個人情報収集と使用の方法を明示するよう、デベロッパーの皆様に義務付けています。</p> <p>詳細については、「How Play works」のウェブサイト (https://play.google.com/intl/ja_jp/about/howplayworks/) をご覧ください。</p>
6-2. アプリケーションプライバシーポリシーの作成や利用者情報取扱の透明性確保の観点からのアプリ提供者に対する働きかけや情報提供	<p>セキュリティに投資しており、デベロッパーによる悪用や不正を検出する、いくつものシステムを導入している。例えば、デベロッパーによるユーザーの情報へのアクセスについて定めた Google API 利用規約は、デベロッパーが収集、使用、他者と共有する利用者情報について明確かつ正確に定めたプライバシーポリシーを提供し遵守することを義務付けている。また、デベロッパーが明示的な「オプトイン」の同意なく、利用者の非公開データを他の利用者やサードパーティに開示することや、スクレイピング、データベース構築、その他利用者データの恒久的コピーを作成することも禁止している。</p> <p>Google の API サービス利用者データポリシーは、デベロッパーがユーザーの Google アカウント データにアクセスするための許可を求めることを義務付けている。それらのアクセス許可の要求は、ユーザーにとって合理的なものでなければならず、アプリ実装に必要な情報に限定される必要がある。デベロッパーは、アプリの既存機能やサービス実装に必要な Google ユーザーのデータのみ、ユーザーへアクセスを求めることができる。</p> <p>Google Play では、アプリとゲームがデバイス内のどのようなデータにアクセスを求めかについてユーザーが十分な情報を得た上で判断できるように支援している。この取り組みの一環として、以前から、デベロッパーが Google Playストアのアプリリストで、どのようにユーザーの情報を収集し使用しているかを開示することを義務付けてきた。2015年に Android Marshmallow を発売した時には、利用者がいつでも、自身のデバイスでこのまに許可を確認、付与、拒否できるランタイム権限を導入した。</p>	<p>Google はセキュリティに投資しており、デベロッパーによる悪用や不正を検出する、いくつものシステムを導入しています。例えば、デベロッパーによるユーザーの情報へのアクセスについて定めた Google API 利用規約は、デベロッパーが収集、使用、他者と共有する利用者情報について明確かつ正確に定めたプライバシーポリシーを提供し遵守することを義務付けています。また、デベロッパーが明示的な「オプトイン」の同意なく、利用者の非公開データを他の利用者やサードパーティに開示することや、スクレイピング、データベース構築、その他利用者データの恒久的コピーを作成することも禁止しています。</p> <p>さらに、Google の API サービス利用者データポリシーは、デベロッパーがユーザーの Google アカウント データにアクセスするための許可を求めることを義務付けています。それらのアクセス許可の要求は、ユーザーにとって合理的なものでなければならず、アプリ実装に必要な情報に限定される必要があります。デベロッパーは、アプリの既存機能やサービス実装に必要な Google ユーザーのデータのみ、ユーザーへアクセスを求めることができます。</p> <p>Google Play では、アプリとゲームがデバイス内のどのようなデータにアクセスを求めかについてユーザーが十分な情報を得た上で判断できるように支援しています。この取り組みの一環として、以前から、デベロッパーが Google Playストアのアプリリストで、どのようにユーザーの情報を収集し使用しているかを開示することを義務付けてきました。2015年に Android Marshmallow を発売した時には、利用者がいつでも、自身のデバイスでこのまに許可を確認、付与、拒否できるランタイム権限を導入しました。</p>
7. PIA・アウトカムについての考え方		
7-1. PIAの導入状況 (GDPRのPIAの具体的な実施方法や、その他の実施事例)	<p>プライバシーとセキュリティに対する Google の投資は、すべてのプロダクトにおいて一貫している。Google の製品や機能は、Google 社内全体からの意見に加えて、世界中のユーザーや専門家から定期的に意見を募る Google のプライバシーとデータ保護オフィスの専門家の承諾を得るまで提供を開始することはない。</p>	<p>プライバシーとセキュリティに対する Google の投資は、すべてのプロダクトにおいて一貫しています。Google の製品や機能は、Google 社内全体からの意見に加えて、世界中のユーザーや専門家から定期的に意見を募る Google のプライバシーとデータ保護オフィスの専門家の承諾を得るまで提供を開始することはありません。</p>
7-2. 利用者情報の取扱いに関するアウトカムについての検討状況 (検討している場合、どのような考え方にに基づき判断しているか)		
7-3. 利用者に対する、PIAの結果やアウトカムの説明の取組状況		
8. 個人情報保護管理者の設置状況		
8-1. 設置状況		<p>Google では、プライバシーやセキュリティの領域において、人員体制も含め多くのリソースを投じています。また、世界の様々な拠点で担当者が従事しており、プロダクトやサービス幅に担当が異なる場合もあります。</p> <p>各企業において、最適な管理者が選任されるためには、その要件は実効的かつ合理的な観点から判断されるべきであり、(特定の圖書や物理的な所在を要求する等の) 規範的なものになりすぎないようにすべきと考えます。</p>
8-2. 名称等		
8-3. 業務内容		

【Facebook Japan株式会社】における利用者情報の取扱い状況 昨年度ヒアリングシート回答との項目の比較

	回答（2021年）	回答（2022年5月17日）
1-1. 利用者情報の取扱いの状況 利用者情報取得の場面・取得する情報の内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の興味・関心に合わせてサービスを提供するために、個人データを使用する。 Facebook、Instagram及びMessengerの各サービスを提供する際に、利用者に関する情報を(i)利用者等が実行および提供するもの、(ii)デバイス情報及び(iii)パートナーからの情報という3つの基本カテゴリーで管理する。 Facebookが提供するサービスへの参加を希望する利用者が提供求められる情報は、氏名、メールアドレス又は電話番号、性別、生年月日、Instagramへの参加を希望する利用者が提供求められる情報は、メールアドレス又は電話番号及び生年月日。 利用者は、自らの選択により、自身の住所、言語、学歴、仕事、趣味及び好きな映画や本、音楽に関する情報等、プロフィールの追加情報を当社に提供することができる。 利用者の当社サービスとのエンゲージメントに関する情報も収集される。この利用者のエンゲージメントに関する情報には、例えば、利用者が「いいね!」ボタンを押したFacebookページ、利用者が参加しているFacebookグループ、利用者が使用している他のアカウント、利用者が閲覧するコンテンツ、プラットフォームにアップロードするコンテンツ（投稿、写真、動画、ストーリー等）及び任意で行うフィードバック（広告が不適切であり又は関連性がないこと等）が含まれる。 以下のような、自社のサービスと統合された、利用者が利用するデバイスからの情報、及び当該デバイスに関する情報を収集する。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスの特徴：オペレーティングシステム、ハードウェアとソフトウェアのバージョン、電池レベル、信号強度、ストレージの空き容量、ブラウザの種類、アプリとファイルの名称と種類、プラグインなどの情報。 デバイスの操作：デバイス上で行われる操作と行動、ウィンドウが前景か背景であるか、マウスの動き(ポットの識別に役立てることが可能)などの情報。 識別情報：利用者が利用するゲーム、アプリ、アカウントからの固有の識別情報、デバイスID、その他の識別情報、およびFamily Device ID(または、同じデバイスやアカウントに関連付けられているFacebookグループ企業製の製品に固有の識別情報)。 デバイスの番号:Bluetoothシリアル、および近くのWi-Fiアクセスポイント、ビーコン、セルタワーに関する情報。 デバイス設定データ：GPSの位置情報、カメラ、写真など、デバイス設定で有効にすることにより利用者が弊社のアクセスを認めている情報。 ネットワークおよび接続：携帯電話会社名、インターネットサービスプロバイダ名、言語、タイムゾーン、携帯電話番号、IPアドレス、接続速度、場合によっては近くにあるまたはネットワーク上にある他のデバイスに関する情報など、当社が利用者の利用を手助けするための情報(動画を携帯電話からテレビにストリーミングするなど)。 Cookieデータ：使用デバイスに保存されたCookieデータ(CookieのIDや設定など)。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社は、個人データを収集し使用する方について、利用者に明確で有意義かつ容易にアクセスできる情報を提供しています。また、弊社は、意図する透明性の促進に努め、可能な限り多くの人が情報がアクセスできるような、平易な言葉遣い、レイアウト、色調及びアイコンを主に使用するデザイン方針を採用しております。 個人データの収集 人々は、友人や家族とつながりを探るために、世界で起きていることを知るために、また、利用者がにとって重要なことを共有・表現するために、弊社のサービスを利用しています。弊社は、こうした使用者の興味・関心に合わせてサービスを提供するために、個人データを収集する必要があります。 弊社は、Facebook、Instagram及びMessengerの各サービスを提供する際、(i)利用者等が実行および提供するもの（誰と繋がっているかを含む）、(ii)利用者が弊社サービスを利用するに当たって使用するデバイスの情報、及び(iii)広告主、パブリッシャー、広告エージェンシーなど、第三者（パートナー）から受領する情報、という3つの基本カテゴリーの利用者に関する情報を収集します。それぞれについて、Facebookのサービス、Instagram及びMessengerに適用される弊社のデータに関するポリシーに概説されています。利用者は、FacebookまたはInstagramのアカウントを最初に作成する際に、データに関するポリシーに同意して頂いています。 弊社が提供するサービスの利用に際して利用者が提供求められる情報は、氏名、メールアドレス又は電話番号、性別、生年月日のみです。Instagramの利用に際して提供求められる情報は、メールアドレス又は電話番号、及び生年月日のみです。また、利用者は、自らの選択により、自身の住所、言語、学歴、仕事、趣味及び好きな映画や本、音楽に関する情報等、プロフィールの追加情報を弊社に提供することもできます。さらに、利用者の当社サービスとのエンゲージメントに関する情報も収集されます。この利用者のエンゲージメントに関する情報には、例えば、利用者が「いいね!」ボタンを押したFacebookページ、利用者が参加しているFacebookグループ、利用者が使用している他のアカウント、利用者が閲覧するコンテンツ、プラットフォームにアップロードするコンテンツ（投稿、写真、動画、ストーリー等）及び任意で行うフィードバック（広告が不適切であること又は興味がないこと等）が含まれます。 弊社は、利用者が弊社のサービスを利用するに使用するデバイスからの情報、及び当該デバイスに関する情報を収集します。弊社のデータに関するポリシーで説明するとおり、弊社が収集するデバイス情報は、以下のようなものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスの特徴：オペレーティングシステム、ハードウェアとソフトウェアのバージョン、電池レベル、信号強度、ストレージの空き容量、ブラウザの種類、アプリとファイルの名称と種類、プラグインなどの情報。 デバイスの操作：デバイス上で行われる操作と行動、ウィンドウが前景か背景であるか、マウスの動き(ポットの識別に役立てることが可能)などの情報。 識別情報：利用者が利用するゲーム、アプリ、アカウントからの固有の識別情報、デバイスID、その他の識別情報、およびFamily Device ID(または、同じデバイスやアカウントに関連付けられているFacebookグループ企業製の製品に固有の識別情報)。 デバイスの番号:Bluetoothシリアル、および近くのWi-Fiアクセスポイント、ビーコン、セルタワーに関する情報。 デバイス設定データ：GPSの位置情報、カメラ、写真など、デバイス設定で有効にすることにより利用者が弊社のアクセスを認めている情報。 ネットワークおよび接続：携帯電話会社名、インターネットサービスプロバイダ名、言語、タイムゾーン、携帯電話番号、IPアドレス、接続速度、場合によっては近くにあるまたはネットワーク上にある他のデバイスに関する情報など、当社が利用者の利用を手助けするための情報(動画を携帯電話からテレビにストリーミングするなど)。
1-2. 取得情報の加工・分析・利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のための当社の製品及びサービスの提供、パーソナライズ化及び改善 (i)機能及びコンテンツ（ニュースフィード及び広告など）のパーソナライズ化並びに、利用者に合わせたコンテンツを推奨し、(ii)よりパーソナライズ化され、広告支援サービス（Facebookのサービス、Instagram及びMessengerを含む。）において整合的な体験を提供するために情報の連結、(iii)それらのサービスの開発、検証及び改善といった弊社のサービスを提供及び改善するために受領した情報を活用する。 測定、分析及びその他のビジネスサービスの提供 保有する情報(訪問したウェブサイトや閲覧した広告など、利用者の当社製品外におけるアクティビティを含む)を、広告主などのパートナーが広告効果やサービス利用状況を測定し、そのパートナーのウェブサイト、アプリ、サービスをどのようなタイプの人が利用し、どのように反応しているかを分析できるようにする目的で使用する。これにより、広告主は、高度な透明性及び測定にかなる知見を得られるとともに、より効果的な広告予算の活用方法に関する十分な情報に基づき意思決定が可能となる。 安全性、健全性及びセキュリティの促進 保有する情報、アカウント及びアクティビティの認証、悪質な行為への対処、スパムなどの問題の検知と防止、当社製品の健全維持、当社製品の内外における安全とセキュリティの促進のために利用する。 公益目的のための研究及びイノベーション 一般社会福祉、技術進歩、公共の利益及び健康と福祉といったトピックに関する研究及びイノベーションの実施及び支援を目的として、受領した情報(当社と提携する選別された研究パートナーからの情報など)を利用する。例えば、弊社は救済活動を支援するために、災害発生時の避難行動パターンに関する情報を分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人データの利用 弊社のデータに関するポリシーには、利用者の同意に基くことを条件として、弊社が弊社の有する情報をどのように利用するのかが明記されています。例えば、弊社は、下記の目的のために受領したデータを利用します。 <ul style="list-style-type: none"> 利用者のための当社の製品及びサービスの提供、パーソナライズ化及び改善 弊社は、(i)機能及びコンテンツ（フィード及び広告など）のパーソナライズ化並びに、利用者に合わせたコンテンツの推奨、(ii)よりパーソナライズ化され、広告支援サービス（Facebookのサービス、Instagram及びMessengerを含む。）において整合的な体験を提供するために情報の連結、(iii)それらのサービスの開発、検証及び改善、といった弊社のサービスを提供及び改善するために受領した情報を利用します。 測定、分析及びその他のビジネスサービスの提供 保有する情報(訪問したウェブサイトや閲覧した広告など、利用者の当社製品外におけるアクティビティを含む)を、広告主などのパートナーが広告効果やサービス利用状況を測定し、そのパートナーのウェブサイト、アプリ、サービスをどのようなタイプの人が利用し、どのように反応しているかを分析できるようにする目的で使用する。これにより、広告主は、高度な透明性及び測定にかなる知見を得られるとともに、より効果的な広告予算の活用方法に関する十分な情報に基づき意思決定が可能となります。 安全性、健全性及びセキュリティの促進 弊社は、保有する情報、アカウント及びアクティビティの認証、悪質な行為への対処、スパムなどの問題の検知と防止、当社製品の健全維持、当社製品の内外における安全とセキュリティの促進のために利用します。 公益目的のための研究及びイノベーション 一般社会福祉、技術進歩、公共の利益及び健康と福祉といったトピックに関する研究及びイノベーションの実施及び支援を目的として、受領した情報(弊社と提携する選別された研究パートナーからの情報など)を利用します。例えば、弊社は救済活動を支援するために、災害発生時の避難行動パターンに関する情報を分析します。
1-3. 利用者情報の第三者提供の状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の情報を他者に販売しておらず、今後販売しない。また、パートナーに対しては、当社が提供するデータの利用と開示方法について厳しい制限を課している。情報を共有する外部パートナーの種類は次のとおり。 当社の分析サービスを利用するパートナー 個人または事業者が自身の投稿、リスティング、ページ、動画、その他Facebook製品内外のコンテンツに対する人々の反応を把握できるように、集約した統計やインサイトを提供する。 広告主 広告を見た人のタイプや広告の効果についてのレポートを広告主に提供しているが、利用者が許可する場合を除き、利用者を特定する情報(利用者の連絡先や特定につながる利用名やメールアドレスなど)は共有しない。例えば、利用者のデモグラフィック情報や趣味・関心に関する一般的な情報(例えば、広告を見た利用者は、マドリッドに住んでいる25~34歳の女性で、ソフトウェアエンジニアリングに関心があるといった情報)を、ターゲット層を把握するために役立つ広告主に提供している。また、どのFacebook広告が購入やアクションにつながったかを確認し、広告主に知らせる。 効果測定を行うパートナー企業 利用者に提供する情報を、当社パートナーに分析や測定のレポートを提供する目的で、データ集計を行う企業と共有する。 当社製品で商品およびサービスを販売するパートナー 利用者が有料コンテンツの受取を申し込むか、当社製品内で販売されるものを購入する場合、当該コンテンツのクリエイターや販売者は、利用者の公開情報や他の共有情報、および取引完了に必要な情報(配送先や連絡先情報など)を受領する。 ベンダーとサービスプロバイダー 当社は、技術インフラサービスの提供、当社製品の利用状況の分析、カスタマーサービスの提供、決済の代行、アンケートの実施などにより当社の事業を補助するベンダーとサービスプロバイダーに、情報とコンテンツを提供する。 研究機関や教育機関 法執行機関や法的要請 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社は、当社製品の提供と改善をサポートするサードパーティパートナー、またはFacebookのビジネスツールを使って自社ビジネスを拡大するサードパーティパートナーと連携することによって、弊社のサービスを運営し世界中の人に無料でサービスを提供しています。弊社は、利用者の情報を他者に販売していませんし、今後決してしません。また、パートナーに対しては、弊社が提供するデータの利用と開示方法について厳しい制限を課しています。情報を共有する外部パートナーの種類は次のとおりです。 弊社の分析サービスを利用するパートナー 弊社は、個人または事業者が自身の投稿、リスティング、ページ、動画、その他Facebook製品内外のコンテンツに対する人々の反応を把握できるように、集約した統計やインサイトを提供します。 広告主 弊社は、広告を見た人のタイプや広告の効果についてのレポートを広告主に提供していますが、利用者が許可する場合を除き、利用者を特定する情報(利用者の連絡先や特定につながる利用名やメールアドレスなど)は共有しません。例えば、利用者のデモグラフィック情報や趣味・関心に関する一般的な情報(例えば、広告を見た利用者は、マドリッドに住んでいる25~34歳の女性で、ソフトウェアエンジニアリングに関心があるといった情報)を、ターゲット層を把握するために役立つ広告主に提供しています。また、どのFacebook広告が購入やアクションにつながったかを確認し、広告主に知らせます。 効果測定を行うパートナー企業 利用者に提供する情報を、弊社のパートナーに分析や測定のレポートを提供する目的で、データ集計を行う企業と共有します。 当社製品で商品およびサービスを販売するパートナー 利用者が有料コンテンツの受取を申し込むか、当社製品内で販売されるものを購入する場合、当該コンテンツのクリエイターや販売者は、利用者の公開情報や他の共有情報、および取引完了に必要な情報(配送先や連絡先情報など)を受領します。 ベンダーとサービスプロバイダー 弊社は、技術インフラサービスの提供、当社製品の利用状況の分析、カスタマーサービスの提供、決済の代行、アンケートの実施などにより弊社の事業を補助するベンダーとサービスプロバイダーに、情報とコンテンツを提供します。 研究機関や教育機関 また弊社は、自社の事業やミッションを支える学問やイノベーションを推進し、広く社会の福祉、技術の発展、および公共の利益、健康、福利に関する発見とイノベーションに資する調査を実施するために、調査パートナーおよび学術機関に情報とコンテンツを提供します。 法執行機関や法的要請 弊社は、一定の状況において、法執行機関に対し、または捜査令状、裁判所による命令、召喚状といった法的要請に応じて、適用法令に遵守するべく情報を共有します。
1-4. 広告ビジネスモデルへの利用者情報の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> 広告やクーポンなどの利用者に表示するスポンサーコンテンツを最適およびパーソナライズする目的で、利用者に当社は保有する、利用者の興味・関心、アクション、つながりなどの情報を利用する。 利用者の個人データを広告主に販売することはない。また、利用者の明確な許可を得ずに、利用者を直接特定できる情報(氏名、メールアドレスまたは他の連絡先情報など)を広告主と共有することはない。その代わりに、広告主は自社の広告の配信を希望するオーディエンスの類型などを当社に知らせることができ、当社は興味を持ちそうな人にその広告を配信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社は、広告やクーポンなどの利用者に表示するスポンサーコンテンツを最適およびパーソナライズする目的で、利用者に当社は保有する、利用者の興味・関心、アクション、つながりなどの情報を利用します。 利用者の個人データを広告主に販売することはありません。また、利用者の明確な許可を得ずに、利用者を直接特定できる情報(氏名、メールアドレスまたは他の連絡先情報など)を広告主と共有することはありません。その代わりに、広告主は自社の広告の配信を希望するオーディエンスの類型などを弊社に知らせることができ、弊社は興味を持ちそうな人にその広告を配信します。
1-5. 利用者のプロフィール・セグメント化状況	<ul style="list-style-type: none"> 保有する情報を、機能とコンテンツのパーソナライズ、当社製品の内外における利用者へのおすすめの実施を含め、当社製品を提供するために利用します。 利用者に合わせて関連性の高いパーソナライズ製品を作成するために、利用者などから取得および認識したデータに基づく利用者のつながり、嗜好、関心、およびアクティビティを利用する。また、利用者の当社製品の利用状況ならびに当社製品に対する反応、および利用者が当社製品の内外でつながりを持ち関心を持っている人、場所、物についても同様利用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社は保有する情報を、機能とコンテンツのパーソナライズ、当社製品の内外における利用者へのおすすめの実施を含め、当社製品を提供するために利用します。 弊社は、利用者に合わせて関連性の高いパーソナライズ製品を作成するために、利用者などから取得および認識したデータに基づく利用者のつながり、嗜好、関心、およびアクティビティを利用します。また、利用者の当社製品の利用状況ならびに当社製品に対する反応、および利用者が当社製品の内外でつながりを持ち関心を持っている人、場所、物についても同様利用します。
2. 利用規約・プライバシーポリシー プライバシーポリシー編		
2-1. 利用者情報の取扱いに係るプライバシーポリシーの内容、掲載場所	<ul style="list-style-type: none"> データポリシーにおいて、「弊社が取得する情報の種類」、「弊社が取得した情報の利用目的」、「情報の共有方法」、「ポリシー変更の際の通知方法」等の項目について説明している。詳しくは、https://www.facebook.com/privacy/explanation参照。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社のデータポリシーにおいて、弊社製品（Facebook、Instagram、Messengerその他）を運営するに当たって使用する情報について、「弊社が取得する情報の種類」、「弊社が取得した情報の利用目的」、「情報の共有方法」、「ポリシー変更の際の通知方法」等の項目により説明しています。詳しくは、下記URLをご覧ください。 https://www.facebook.com/privacy/explanation
2-2. サービス利用開始前利用者への示し方、通知/同意取得の方法（導線等）	<ul style="list-style-type: none"> サービスの利用者が自らの個人データがどのように利用されているかに関する十分な情報を確実に受領し、また、当社と共有する情報を精査及び管理するための権限を確実に付与されるようするための多くの方法を利用している。これにより、利用者は、当社のサービスへの登録及びエンゲージメントの選択において、十分な情報に基づいた意思決定が可能となる。 当社による個人データの収集及び利用に関するすべての利用者への十分な通知を担保するために、すべての見込利用者には最初の登録時に当社のデータに関するポリシーが提示される。利用者は、登録時に、関連するサービス利用規約、データに関するポリシー及びCookieに関するポリシーを確認及び同意するよう求められる。登録が完了した利用者は、ほぼすべてのFacebookのサービスウェブページから、Instagramウェブサイト並びにFacebookのサービス及びInstagram上のアプリ内メニュー経由で、データに関するポリシーへ容易にアクセス可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社は、弊社のサービスの利用者が自らの個人データがどのように利用されているかに関する十分な情報を確実に受領し、また、弊社と共有する情報を精査及び管理するための権限を確実に付与されるようするための多くの方法を利用しています。これにより、利用者は、弊社のサービスへの登録及びエンゲージメントの選択において、十分な情報に基づいた意思決定が可能となります。 弊社による個人データの収集及び利用に関するすべての利用者への十分な通知を担保するために、利用者になるかもしない人には、最初の登録前に弊社のデータに関するポリシーが提示されます。利用者は、登録時に、関連するサービス利用規約、データに関するポリシー及びCookieに関するポリシーを確認及び同意するよう求められます。登録が完了した利用者は、ほぼすべてのFacebookのサービスウェブページから、Instagramウェブサイト並びにFacebookのサービス及びInstagram上のアプリ内メニュー経由で、データに関するポリシーへ容易にアクセス可能となります。
2-3. 変更の際の通知/同意取得の方法	<ul style="list-style-type: none"> データポリシーに変更を加える場合、事前に利用者へ通知し、利用者が改訂後のポリシーを確認し、今後製品の利用を続けるかどうかを検討できる機会を設けます。 当社のプライバシー・プラクティスに関してフィードバックを行う機会を利用者に提供する取り組みを行っており、これは、2018年に行われた当社のデータに関するポリシーの大幅な更新の際に講じたプロセスからも明らかである。当時、データに関するポリシーの更新版を世界中の利用者に向けてリリースし、更新が確定されて利用者が更新後のポリシーへの同意を求められる前に、フィードバックを行う機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> データポリシーに変更を加える場合、弊社は事前に利用者へ通知し、利用者が改訂後のポリシーを確認し、今後製品の利用を続けるかどうかを検討できる機会を設けます。
2-4. 利用開始後（最初の同意・通知後）における、定期的な通知等の工夫	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーツール：新規及び既存利用者は、自らの情報がどのように共有されるかを管理するために、自らが使用することのできる機能及び設定を段階的に学ぶツアーに参加することができ、新たな利用者は全員、プライバシーツールに参加するよう促されます。 プライバシーセンター：Facebookのサービスのすべてのページの上からアクセスできるプライバシーセンターというメニュー画面を提供している。プライバシーセンターでは、利用者はわずかに数回のタップで自身のデータを管理できる。このメニュー画面では、個人情報の管理方法(例：利用者は共有している内容の権限及び必要な場合の削除が可能)や閲覧する広告の管理、自身の投稿及びプロフィール情報を閲覧可能な相手の管理についてより詳しく学ぶことができます。 https://www.facebook.com/ads/about/7entry_privacy_shortcuts プライバシー基本ガイド：教育ツールのプライバシー基本ガイドは、プライバシーに関するさらなる情報を利用者に提供しており、FAQ機能の人気のトピックも含まれている。広範囲にわたるトピックを検索可能なヘルプセンターを公開している。ここでは、当社のサービスの流れや利用者による管理に関する詳細情報が提供されています。 アカウント設定：全ての利用者は、自身のアカウント設定内でプライバシー関連の設定及び管理に容易にアクセスすることができ、このツールは利用者の重要なプライバシー関連の設定に関するリマインダーの役割を果たし、利用者に自身が選択した内容を維持するか又は更新するかについて提醒するよう促す。 全体公開投稿リマインダー：利用者が友達のみと共有ではなくコンテンツを一般公開する意図があるかを確認するために、当社は、利用者がコンテンツを一般公開するかどうかを選択を行う前に、短い通知を利用者に送ります。 Facebookヒント：さらに、利用者に対して、ヒントを通じてFacebookのサービス上での管理の活用や個人情報の保護に関する啓発を定期的に行っている。ヒントは利用者のニュースフィードに表示され、世界中の利用者が自身に合った方法でFacebookのサービスを利用できるようにするためにパーソナライズされるものとして製品内に組み込まれているものです。ヒントは利用者のアカウントを安全に保つためのFacebookのサービス上での個人情報の管理及び保護、そして友達との交流の新たな方法まで広範囲にわたるトピックを扱っています。 プライバシーセンター：最近、新しいグローバルなプライバシーセンターの立ち上げを発表しました。プライバシーセンターは、弊社のアプリやテクノロジーにおけるプライバシーに関する弊社のアプローチについて、利用者の皆様に届けたかったための、使いやすい、集中的な教育ツールです。プライバシーセンターでは、利用者の情報の収集と使用に関する弊社のアプローチについて、最新で透明性の高い、理解しやすい情報を提供しています。プライバシーセンターには、共有、セキュリティ、データ収集、データ使用、広告という5つの共通のプライバシートピックに関するメニュー、利用者のプライバシーオプションとプライバシーツールに関する教育、およびプライバシーの更新に関する内容が含まれています。また、利用者がすぐに行動を起こせるように、関連する規約やポリシーなどの資料や、関連するプライバシー設定へのダイレクトリンクも提供しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社は、利用者に対してプライバシー関連の設定に関する情報を提供し、利用者が自らのプライバシー関連の設定を管理するのを支援するための様々な教育ツール及び機能を利用しています。Facebookのサービスの事例を以下に記載しています。 プライバシーツール：新規及び既存利用者は、自らの情報がどのように共有されるかを管理するために、自らが使用することのできる機能及び設定を段階的に学ぶツアーに参加することができ、新たな利用者は全員、プライバシーツールに参加するよう促されます。 ヘルプセンター：弊社は、広範囲にわたるトピックを検索可能なヘルプセンターを公開しています。ここでは、当社のサービスの流れや利用者による管理に関する詳細情報が提供されています。 アカウント設定：全ての利用者は、「設定とプライバシー」内の「設定」からプライバシー関連の設定及び管理に容易にアクセスすることができ、このツールは利用者の重要なプライバシー関連の設定に関するリマインダーの役割を果たし、利用者に自身が選択した内容を維持するか又は更新するかについて提醒するよう促す。 全体公開投稿リマインダー：利用者が友達のみと共有ではなくコンテンツを一般公開する意図があるかを確認するために、当社は、利用者がコンテンツを一般公開するかどうかを選択を行う前に、短い通知を利用者に送ります。 Facebookヒント：さらに、利用者に対して、ヒントを通じてFacebookのサービス上での管理の活用や個人情報の保護に関する啓発を定期的に行っている。ヒントは利用者のニュースフィードに表示され、世界中の利用者が自身に合った方法でFacebookのサービスを利用できるようにするためにパーソナライズされるものとして製品内に組み込まれているものです。ヒントは利用者のアカウントを安全に保つためのFacebookのサービス上での個人情報の管理及び保護、そして友達との交流の新たな方法まで広範囲にわたるトピックを扱っています。 プライバシーセンター：最近、新しいグローバルなプライバシーセンターの立ち上げを発表しました。プライバシーセンターは、弊社のアプリやテクノロジーにおけるプライバシーに関する弊社のアプローチについて、利用者の皆様に届けたかったための、使いやすい、集中的な教育ツールです。プライバシーセンターでは、利用者の情報の収集と使用に関する弊社のアプローチについて、最新で透明性の高い、理解しやすい情報を提供しています。プライバシーセンターには、共有、セキュリティ、データ収集、データ使用、広告という5つの共通のプライバシートピックに関するメニュー、利用者のプライバシーオプションとプライバシーツールに関する教育、およびプライバシーの更新に関する内容が含まれています。また、利用者がすぐに行動を起こせるように、関連する規約やポリシーなどの資料や、関連するプライバシー設定へのダイレクトリンクも提供しています。

<p>2-5. 透明性確保のための工夫 利用者の取扱いを分かりやすくするための考え方、工夫や対処（利用者への働きかけや情報提供、ユーザーテストの実施等）</p>	<p>・2020年7月にホワイトペーパー「Communicating About Privacy」を発表して以来、消費者にプライバシーに関する情報を提示するためのより良いアプローチを模索するために、世界中のステークホルダーと協議を重ねながら、この課題を深く追求してきた。ホワイトペーパーでは、自分の情報がどのように使用されているかを人々に知らせるための、最良と思われるデザイン手法を幅広く紹介している。その中で明らかになったのは、すべての消費者にとって有効な、唯一の「正しい」プライバシー通知の方法はないということである。</p> <p>・他の多くの事業者と同様に、消費者がより詳細な情報を見つめられるようにリンクを張ったり、階層状のプライバシー通知を採用している。</p> <p>・ホワイトペーパーでは、より質の高い通知の開発を促進するために、業界と規制当局が協力して通知の基準を策定することや、説明責任の手段を再設計して、単に結果だけでなく、適切なプライバシー設計プロセスの遵守を求めることなどの提案も行っている。</p>	<p>・自分の個人情報を理解し、管理できるようにするには、関連するデータ取り扱い方法について利用者に通知することが不可欠です。しかし、その通知は意味のあるものでなければ効果的であるとは言えません。日本人が日々接する組織やサービスの数が多いことを考えると、「通知疲れ」を起こさずに十分な情報を提供するにはどうすればよいか、という点が課題となります。利用者は情報を得る必要がありますが、単に伝える情報の量を増やすだけでは十分ではありません。弊社としては、事業者に対して長くて複雑な、あるいは法律用語を多用した事前の通知を行う必要のある事柄からなるルールを適用することは、消費者の利益にならないと考えています。むしろ事業者は、人々に情報を提供すると同時に、人々が自分にとって意味のあるプライバシーの選択ができるようにする新しい方法を見つける必要があります。</p> <p>・その出発点として、「人」に焦点を当て、プライバシー情報やどのようなプライバシー通知とどのように関わり合いを持つべきかを考えることが重要で、プライバシーに関する効果的なコミュニケーションとは、デジタルサービスを利用する人々の多様性や、コンテキストやデバイスや人々知能などの進化するテクノロジーを人々がどのように理解し、どのように活用するかを認識し、それに合わせて設計することも含まれます。「人」を中心に据えることにより、利用者とコミュニケーションのためのより良いアプローチを開発することができます。要するに、プライバシーに関する通知をデザインしたり、プライバシーについて利用者とコミュニケーションをとるのに、画一的なアプローチはないということです。むしろ、様々なコンテキスト、利用者、サービスを考慮した上で、最適なソリューションを提供する必要があります。</p> <p>・弊社は、2020年7月にホワイトペーパー「Communicating About Privacy」を発表して以来、消費者にプライバシーに関する情報を提示するためのより良いアプローチを模索するために、世界中のステークホルダーと協議を重ねながら、この課題を深く追求してきました。ホワイトペーパーでは、自分の情報がどのように使用されているかを人々に知らせるための、最良と思われるデザイン手法を幅広く紹介しています。その中で明らかになったのは、すべての消費者にとって有効な、唯一の「正しい」プライバシー通知の方法はないということです。</p> <p>https://about.fb.com/wp-content/uploads/2020/07/Privacy-Transparency-White-Paper.pdf</p> <p>・他の多くの事業者と同様に、弊社もすでに、消費者がより詳細な情報を見つめられるようにリンクを張ったり、階層状のプライバシー通知を採用しています。しかし、階層化された通知をナビゲートすることは複雑であると批判する声もあります。事業者は、提供する情報が多すぎると批判される一方で、少なすぎると批判され、扱いきれなくなってしまう。これは、何らかの規律によって、通知の基準やデザインを一つに規定しようとするこの限界を示しています。</p> <p>法的枠組みは、様々な状況で適切なデザインを可能にし、実際にそれを奨励するための十分な柔軟性を提供する必要があります。すべての事業者及び利用者にとって唯一の解決策がないことを考えると、規制の課題は、1つのアプローチを義務付けることなく、また利用者が読みそうもない長くて内容が凝縮した事前通知を奨励することなく、どのようにして企業に高い基準の要求を課すかということです。弊社は、検討の指針となる重要な原則がいくつかあると考えています。</p> <p>・すなわち、企業は、長々とした事前通知を示すべきではなく、また、消費者と企業との関係が開始する時に潜在的に関連する情報のすべてが、一度にすべて消費者に提供される必要はありません。このようなアプローチは、その時点で消費者に開示する情報の量が消費者に過剰に提供される危険性があります。長い通知は、消費者が自分のプライバシーについて熟慮して決定するに役立ちません。むしろ、消費者と事業者との関係の中で、文脈の中で、また時間をかけてプライバシー情報を提供することに重点を置くべきです。</p> <p>・また、ホワイトペーパーでは、より質の高い通知の開発を促進するために、業界と規制当局が協力して通知の基準を策定することや、説明責任の手段を再設計して、単に結果だけでなく、適切な方法で、一設計プロセスの遵守を求めることなどの提案も行っています。弊社は、この分野での先進的な考え方に貢献する役割を果たしたいと考えています。</p> <p>また弊社では、プライバシー保護の取組を詳細に説明したデータポリシーや、上記の質問2-4の回答で述べたデータプライバシー保護の取組を人々に伝える方法を数多く用意しています。</p> <p>・ユーザーチームのプライバシーに関するセクションで、プライバシーにどのように対処したかについて、特定の機能または論点を踏まえた上で、より詳細な情報を提供し、人々とコミュニケーションをとっています。</p> <p>・また、弊社のデータ処理活動や、利用者のデータをどのように利用しているかについて、よりよく理解してもらうために、プロダクト内での通知や文脈を踏まえながら説明するページを通じて、弊社のプライバシー管理に関する情報を提供することもあります。</p> <p>・さらに、ヘルプセンターおよびプライバシーセンター（上記2-4を参照）を利用して、弊社のプライバシー慣行に関して利用者が抱く可能性のある質問に対する回答を提供しています。</p> <p>→プライバシーや個人情報の取り扱いに関する利用者からの問い合わせに対応するための専門チームを設置しています。</p>
<p>2-6. 同意取得/通知に際しての、利用規約やプライバシーポリシーを理解しやすくするための工夫（簡層的アプローチ、ダッシュボード、ジャストインタイム、アイコン、モバイル及びスマートデバイスの特徴の利用等）</p>	<p>・2-5のとおり、2020年7月、事業者はプライバシー設計の決定において「人」を中心に据えることで、プライバシー情報をよりよく伝える必要性を強調したホワイトペーパーを発表した。ホワイトペーパーでは、事業者、政策立案者、その他の専門家が協力し合うことの重要性も強調している。</p> <p>・当社が設立し支援する業界横断的な取り組みであるITCラボを通じて、当社はさまざまな専門家や企業と協力し、データやプライバシーの選択について人々によりよく知らせるためのクリエイティブなデザインソリューションを開発している。</p> <p>・データポリシーのデザインを変更し、より読みやすく、適切なものにし、[「プライバシー設定の確認」]のような製品内プロンプトの追加を行ったり、さらには「この広告が表示されている理由」や「Facebook外のアクティビティ」などの機能を展開している。</p>	<p>・弊社は日々新しいプライバシー管理機能の開発や、利用者に分かりやすい設計に取り組んでいます。そのため研究に注力し、社外のデザイナー、開発者、プライバシー専門家、規制当局などとも協力しています。</p> <p>・上述のとおり、2020年7月、弊社は、事業者はプライバシー設計の決定において「人」を中心に据えることで、プライバシー情報をよりよく伝える必要性を強調したホワイトペーパー（同上）を発表しました。うまくいけば、リテラシーレベルやテクノロジーへの精通度にかかわらず、すべての人が、自分のデータについて、どのように共有するかについて、十分な情報を得た上で選択できるようになります。しかし、データとプライバシーに関する選択を人々に理解してもらうという課題は、個々の事業者が取り組んでも、一方で、政府だけでも、解決できないことです。そのため、ホワイトペーパーでは、事業者、政策立案者、その他の専門家が協力し合うことの重要性も強調しています。</p> <p>・弊社が設立し支援する業界横断的な取り組みであるITCラボを通じて、私たちはさまざまな専門家や企業と協力し、データやプライバシーの選択について人々によりよく知らせるためのクリエイティブなデザインソリューションを開発しています。</p> <p>https://www.ttcilabs.net/</p> <p>・弊社は長年にわたり、プライバシー情報を常に表示するための新しい方法を常に模索してきました。例えば、データポリシーのデザインを変更し、より読みやすく、透明性高く、適切なものにし、[「プライバシー設定の確認」]のような製品内プロンプトの追加を行ったり、さらには「この広告が表示されている理由」や「Facebook外のアクティビティ」などの機能を展開しています。</p>
<p>2-7. オプトアウト 利用者の提供を希望しない意思を示すオプトアウトの設置状況（方法、対象範囲等含む）</p>	<p>・当社のサービスは広告収入により支えられているため、パーソナライズされた広告のすべてをオプトアウトする選択は利用者に付与していません。</p> <p>・一方で、利用者がFacebookのサービス上で閲覧する広告をカスタマイズ及び管理できる各種のツール及び機能を提供している。</p>	<p>・弊社は提供するサービスの利用に際して利用者が提供求められる情報は、氏名、メールアドレス又は電話番号、性別、生年月日のみです。Instagramの利用に際して利用者が提供求められる情報は、メールアドレス又は電話番号、及び生年月日のみです。また、利用者は、自らの選択により、自身の住所、言語、性別、仕事、趣味及び好きな映画や音楽に関する情報等、プロフィールの追加情報を弊社に提供することもできます。この追加情報の提供は完全に利用者の任意で、これらの追加情報を提供しなくても利用者は弊社のサービスを利用し続けることができます。</p> <p>利用者がより自身のプライバシーを管理できるように、弊社は既存の管理方法を改善し、新しい管理方法を構築してきました。</p> <p>設定や管理するためのページを見つけやすくするために、「設定」メニューを再設計しました。ダッシュボードを通じて、利用者はプライバシー設定、セキュリティとプライバシー情報、広告設定、その他の設定にアクセスし、変更することができます。</p> <p>Facebook外のアクティビティでは、利用者がウェブサイトやアプリを利用した際に弊社が受け取った情報を確認し、その情報をアカウントから削除したり、今後弊社がアカウントに関連付けた情報を保存する機能をオフにすることができるツールも用意されています。</p> <p>「広告表示の設定」では、広告の仕組みや広告に関するすべての設定をまとめて確認できます。</p> <p>また、広告コンテンツをより調整しやすくするために、Ad Topics and Interest CategoriesをAd Topics Controlに統合し、1つのサービスで広告コンテンツを調整できるようになりました。統合されたAd Topics Controlは、より広範な広告トピックをカバーし、トピックの透明性と制御機能を拡張しています。「広告トピックを管理」では、引き続き利用者に選択したトピックに係る広告の表示を減らす機能を提供し、利用者が関連付けられた場合、対応するターゲティングセグメントから削除し、広告配信において選択したトピックに関連する広告コンテンツをフィルタリングすることを目的としています。これらの機能により、利用者は広告体験に対する主体性を持つことができます。</p> <p>また、日本を含め、定期的に利用者にプライバシー設定の見直しを促しています。</p>
<p>2-8. オプトアウトをした場合のサービス利用継続の可否</p>	<p>・2-7参照</p>	<p>・2-7参照</p>
<p>2-9. 利用者の提供について個別に選択できるダッシュボード等の設置状況（方法、対象範囲等含む）</p>	<p>・「広告表示の設定」において、広告のターゲット設定に使用されるプロフィール情報、興味・関心のカテゴリ等を設定・管理することができます。</p> <p>・「この広告が表示されている理由」は、利用者が特定の広告が表示される理由の説明を確認することができます。</p> <p>・「Facebook外のアクティビティ」機能により、利用者は事業者や組織が自社アプリ又はウェブサイトの訪問、コンテンツの閲覧、及びショッピングカートへのアイテムの追加などの利用者のインタラクションに関して当社と共有しているアクティビティの概要の確認や、各自のFacebookのアカウントからの当該アクティビティの関連付けを解除することができます。</p>	<p>・弊社は、利用者が弊社の提供するサービスでの体験をカスタマイズして管理するための一連のツールや機能を提供しています。</p> <p>「この広告が表示されている理由」ツールにより、利用者は広告主のパーソナライズにマッチした要素を理解し、今後このデータがどのように使用されるかを管理することができます。このツールは、例えば、Facebook上のどの広告からでも、右上の3つの点をクリックすることでアクセスでき、これまでに数百万の日本人に利用されてきました。「この広告が表示される理由」から、利用者は簡単に広告設定にアクセスし、調整することができます（上記2-7参照）。</p> <p>・広告コントロールツールは、広告のパーソナライゼーションに特定の種類のデータが使用されないようにするなど、パーソナライズされた広告の配信に特定の種類のデータがどのように使用されるかについて、利用者が具体的に細かな調整を行えるようにしています。</p> <p>・2020年、弊社は「Facebook外のアクティビティ」機能という、かつてなかった機能を導入しました。この機能により、利用者は事業者や組織が自社アプリ又はウェブサイトの訪問、コンテンツの閲覧、及びショッピングカートへのアイテムの追加などの利用者のインタラクションに関して弊社と共有しているアクティビティの概要の確認や、各自のFacebookのアカウントと当該アクティビティとの関連付けを解除することができます。</p>
<p>2-10. オプトアウトに関する通知事項、導線</p>	<p>・2-7参照</p>	<p>・2-7参照</p> <p>・利用者は、「設定とプライバシー」から、プライバシー設定、セキュリティおよびログインに関する情報、広告の表示の設定、その他の設定にアクセスし、変更することができます。また、ヘルプセンターでは、プライバシー設定やツールについてのわかりやすい説明や、よくある質問に対する回答などを提供しています。</p>

<p>4. 他社へのデータ提供、他社との連携の状況</p> <p>4-1. 他社に対する、取得した利用者情報・位置情報に基づくデータ提供の内容、提供に関する留意点（ユーザーへの説明、他社の監督、安全管理など）</p>	<p>・1-3参照</p>	<p>・1-3参照</p>
<p>4-2. 利用者情報・位置情報の取得・活用に関する、他社との連携状況、連携に関する留意点（ユーザーへの説明、他社の監督、安全管理など）</p>	<p>・ここ数年間、データの扱い方を変更し、データへのアクセスとデータの管理に関するパートナーの責任の持ち方を変えてきた。APIへのアクセスを制限し、アプリレビューを拡張し、アプリ開発者の調査を開始した。開発者がFacebookのプラットフォームを責任を持って使用し続けるために必要なツールと情報を確実に届けるようにするため、次の3つの分野で改善を図ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発者にデータの使用とシェアに関するさらなる明確になったガイダンスを提供する。 - 開発者に責任を持たせるための新しいツールとコントロールをビルドする。その中には、年ごとのデータの使用状況の確認プロセスがある。このプロセスでは、開発者はFacebookプラットフォームAPI経由で自分たちがアクセスするデータのタイプをレビューし、データの利用方法がFacebookの規約とポリシーに準拠していることを確認できる。 - 開発者のエクスペリエンスを改善する。開発プロセスとアプリレビュープロセスをカスタマイズして多様な開発者をより良くサポートできるようにし、アプリダッシュボードを更新して必要なすべてのアクションをさらに簡単に確認できるようにしてきた。 - 利用者のエクスペリエンスを改善する。アプリで利用者にポジティブなエクスペリエンスを提供するための追加のポリシーガイダンスを提供している。 <p>・最初の分野での取り組みの一環として、Facebook社のプラットフォームとツールを使用する際、データを保護し、利用者のプライバシーを尊重するという自分たちの責任を確実に事業者と開発者が明確に理解できるように、新しいプラットフォーム規約と開発者ポリシーを導入した。新たなプラットフォーム規約と開発者ポリシーは、既存のFacebookプラットフォームポリシー(Messengerプラットフォームを含む)、Instagramプラットフォーム規約と開発者ポリシー、既存のFacebookプラットフォームポリシー(Messengerプラットフォームを含む)、Instagramプラットフォーム規約、拡張プラットフォーム規約に関する補足規約、技術提供者修正事項を簡素化し置き換えるものである。</p> <p>プラットフォーム規約：プラットフォーム規約は更新され、データ利用の制限、データセキュリティ要件、規定の実施、利用規約と保証(知的財産など)に焦点が当てられている。これは、Facebookプラットフォームで製品とソリューションをビルドする際の、開発者の権利と責任をより良く保護することに役立つ。</p> <p>プラットフォームデータの利用とシェア：更新されたプラットフォーム規約では、Facebookのプラットフォームから開発者が受け取るデータの階層構造を定義し、各層のデータをどのように利用しシェアするかに関する明確なガイダンスが提供されている。プラットフォームデータと制限プラットフォームデータというこの新しい区分は、情報開発者が利用者の明示的な同意なしに第三者とシェアできるものを制限し、利用者のデータのセキュリティを保護している。</p> <p>データの削除：データ削除に関するポリシーは、開発者が製品やサービスの運営を中止した場合、Facebook社が削除を要請するか、開発者がデータを削除することを求めることができる。開発者が製品やサービスの運営を中止した場合、Facebook社が削除を要請するか、開発者がデータを削除することを求めることができる。</p> <p>データセキュリティ要件：更新された規約では、開発者に対するFacebook社のデータセキュリティ要件の規定が強化されている。データ漏えいが発生した場合、Facebook社に通知し、すぐに問題の修復を始め、安全な範囲でFacebook社と協働することが求められている。また、監査、停止、施行に関するFacebook社の規定も明確化している。</p> <p>開発者ポリシー：統合、品質コントロール、ユーザーエクスペリエンス、コンテンツ、美的、機能に関する要件をそれぞれ分け、開発者ポリシーという単一のドキュメントにまとめた。</p> <p>・1-4及び13-1参照</p>	<p>・ここ数年間、開発者はデータの扱い方を変更し、データへのアクセスとデータの管理に関するパートナーの責任の持ち方を変えてきた。APIへのアクセスを制限し、アプリレビューを拡張し、アプリ開発者の調査を開始した。開発者がFacebookのプラットフォームを責任を持って使用し続けるために必要なツールと情報を確実に届けるようにするため、弊社が次の3つの分野で改善を図ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発者にデータの使用とシェアに関するさらなる明確になったガイダンスを提供する。 - 開発者に責任を持たせるための新しいツールとコントロールをビルドする。その中には、年ごとのデータの使用状況の確認プロセスがあり、Facebookの規約とポリシーに準拠していることを確認できる。 - 開発者のエクスペリエンスを改善する。開発プロセスとアプリレビュープロセスをカスタマイズして多様な開発者をより良くサポートできるようにし、アプリダッシュボードを更新して必要なすべてのアクションをさらに簡単に確認できるようにしてきた。 - 利用者のエクスペリエンスを改善する。アプリで利用者にポジティブなエクスペリエンスを提供するための追加のポリシーガイダンスを提供している。 <p>・最初の分野での取り組みの一環として、弊社は2020年7月、弊社のプラットフォームとツールを使用する際、データを保護し、利用者のプライバシーを尊重するという責任を事業者と開発者が明確に理解できるように、新しいプラットフォーム規約と開発者ポリシーを導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 新たなプラットフォーム規約と開発者ポリシーは、既存のFacebookプラットフォームポリシー(Messengerプラットフォームを含む)、Instagramプラットフォーム規約、拡張プラットフォーム規約に関する補足規約、技術提供者修正事項を簡素化し置き換えるものである。 - プラットフォーム規約：プラットフォーム規約は更新され、データ利用の制限、データセキュリティ要件、規定の実施、利用規約と保証(知的財産など)に焦点が当てられている。これは、Facebookプラットフォームで製品とソリューションをビルドする際の、開発者の権利と責任をより良く保護することに役立つ。 - プラットフォームデータの利用とシェア：更新されたプラットフォーム規約では、Facebookのプラットフォームから開発者が受け取るデータの階層構造を定義し、各層のデータをどのように利用しシェアするかに関する明確なガイダンスが提供されている。プラットフォームデータと制限プラットフォームデータというこの新しい区分は、情報開発者が利用者の明示的な同意なしに第三者とシェアできるものを制限し、利用者のデータのセキュリティを保護している。 - データの削除：データ削除に関するポリシーの要件も明確化している。開発者は、正当なビジネス上の目的のためのデータ利用の必要がなくなった場合、開発者が製品やサービスの運営を中止した場合、弊社Facebook社が削除を要請した場合、または開発者がデータを削除して受け取った場合、開発者はデータを削除することが求められる。 - 施行と監査：更新された規約では、開発者に対する弊社のデータセキュリティ要件の規定が強化されています。データ漏えいが発生した場合にも、弊社に通知し、すぐに問題の修復を始め、安全な範囲で弊社と協働することが求められています。また、監査、停止、施行に関する弊社の規定も明確化しています。 - 開発者ポリシー：統合、品質コントロール、ユーザーエクスペリエンス、コンテンツ、美的、機能に関する要件をそれぞれ分け、開発者ポリシーという単一のドキュメントにまとめた。 <p>・1-4及び13-1参照</p>
<p>5. サードパーティによる情報取得への対応方針</p> <p>5-1. ウェブブラウザやアプリ経由でサードパーティが情報取得することについての方針 (Third Party Cookieや広告ID等の取扱い) ウェブとアプリで方針は同じか異なるか。</p>	<p>・利用者がパートナーのサービスを訪問、利用した場合、またはパートナーが連携する外部パートナーを通して、パートナーは利用者のデータを受け取る。これらのパートナーが当社にデータを提供する前に、パートナーが利用者のデータを取得、利用、共有する正当な権利を有していることを当社が当該パートナーに要求する。</p>	<p>・弊社は、人々の公開データおよびプライベートデータを収集するために設計された自動化されたアクティビティが、あらゆるウェブサイトやサービスを自動的にしていることを承認しています。また、スクレイパー（悪意のあるアプリ、ウェブサイト、スクリプト）は、弊社が構築し、そして改善する防衛に反対して、検出を回避するために絶えず戦術を適応させており、非常に絶望的な領域であることも承認しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 攻撃者にとってスクレイピングをより難しく、より高い代償を必要とするための大規模なセキュリティ戦略の一環として、弊社は2011年からバグ発見者賞プログラムを運用しています。このプログラムは、外部の研究者が潜在的なセキュリティ脆弱性を報告することによって、弊社の製品とサービスのセキュリティとプライバシーの向上に貢献するものです。このプログラムは、コミュニティをより良く保護するために問題をより早く検出・修正するために役立つだけでなく、賞格のある参加者に報酬を授与することによって、より高いセキュリティ研究が促進されています。 - 2021年だけでも、46か国以上の研究者が230万ドル以上を授与し、合計で約25,000件の報告を受け、800件以上に対して報奨金を授与しています。 - 2021年12月には、弊社はバグ発見者賞プログラムの拡大を発表しました。拡大されたプログラムでは、弊社が以下のような報酬を提供しています。 <ul style="list-style-type: none"> - 個人情報または機密情報（例：電子メール、電話番号、住所、宗教または政治的信条）を含む、少なくとも10万円のユニークなFacebook利用者レコードを含む保護されていないまたは公開されているデータベースに関する報告 - 弊社のプラットフォームにおけるスクレイピング/バグに関する有効な報告
<p>5-2. フィンガープリント、Unified ID 2.0等のクッキーの代替手段での情報取得の動きについての考え方</p>	<p>・ここ数年、当社が取り組んできた方法のひとつであり、今後も優先的に取り組んでいくのが、プライバシー保護技術 (PET) への投資である。これは、より少ない個人データを処理しながらパーソナライズされた広告を提供することを目的としている。例えば、人々のデバイスに残っているデータを使ってアルゴリズムを学習する方法を検討している。また、プライバシーに配慮した広告測定システムの構築に向けた業界の取り組みをリードしており、いくつかの技術を開発して他社が利用できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ World Federation of Advertisers (世界広告主連盟) のクロスメディア測定イニシアチブなど、業界のイニシアチブに参加し、高度な広告ユーザーを可能にするプライバシー重視の測定システムの構築を支援している。 	<p>・オンライン広告業界では、以前から、異なるウェブサイト間で収集されるデータの収集と使用を制限する方向で動いています。Appleは数年前から Safari ブラウザでクッキーを使用する機能を制限しています。Googleは2020年後半からサードパーティクッキーを段階的に廃止する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 弊社のアプローチは、プライバシーを保護しながらパーソナライズされた広告を可能にするテクノロジーを構築すると同時に、自由でオープンなウェブをサポートすることです。 - 弊社は今後もプライバシーに係る透明性と利用者による管理を確保するべく投資していきます。また、業界における他の事業者もこうした原則をプライバシーに対するアプローチの基礎に据えるでしょうし、またそうすべきだと考えています。しかし、まだまだやるべきことがあることも認識しています。 <p>・ここ数年、私たちが取り組んできた方法のひとつであり、今後も優先的に取り組んでいくのが、プライバシー保護技術 (PET) への投資です。これは、処理する個人情報を最小限にしながらパーソナライズされた広告を提供し、個人情報の保護に貢献することを目的としています。PETsは、暗号技術や統計学などの高度な技術を使用しています。これらの技術は、広告の測定やパーソナライゼーションなどの個人情報を維持しながら、処理するデータを最小限にするのに役立ちます。例えば、購入した商品やメールアドレスなどの個人情報を保持することによって、弊社の製品とサービスに個人情報をよりよく活用できるようにしています。また、例えば、MPC (Secure Multi-Party Computation) は、2つ以上の組織が、互いに情報を共有することをできなくしながらも協働することができるとともに、プライバシーに配慮した広告測定システムに向けた業界の取り組みをリードしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> - また、World Federation of Advertisers (世界広告主連盟) のクロスメディア測定イニシアチブなど、業界のイニシアチブに参加し、高度な広告ユーザーを可能にするプライバシー重視の測定システムの構築を支援しています。 <p>これらの技術はソリューションの一部ですが、同時に、データの最小化などプライバシーに関する基本的な原則を守りながら、当社の製品がデータを収集、使用方法を検討し続ける必要があります。そして、人々のプライバシーを尊重しつつ、パーソナライズされた広告のメリットを維持できると信じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> - また、業界やパートナー企業、政策立案者などと協力して、人々のプライバシーを確保しつつ、自由でオープンなインターネットをサポートし、あらゆる規模の企業が広告を届け、顧客にリーチできるようにする方法を模索することに注力しています。当社は、Cookieやデータ収集に関するポリシーや慣行の変化に合わせて、この活動を継続していきます。
<p>6. PIA・アウトカムについての考え方</p> <p>6-1. PIAの導入状況 (GDPR/DPIAの具体的な実施方法や、その他の実施事例)</p>	<p>・プライバシー・レビュー・プロセス (以下、「プライバシー・レビュー」) を導入している。プライバシー・レビューは、人々の情報の収集、使用、または共有及び、当社のプライバシーおよびセキュリティ慣行に関する外部への説明に係るプライバシー・リスクを評価するプロセスである。また、このプライバシー・レビューは、当社が特定したプライバシー・リスクを識別し、軽減するためのものである。プロダクトや機能の開発、新機能または慣行の見直しは、プライバシーに関する以下のような観点から行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 目的の限定：人々に価値を提供する、限定された明確な目的のためにのみデータを処理する。 - データの最小化：明確な目的を達成するために必要な最小限のデータを収集・作成する。 - データの保持：明確に示された目的を達成するために実際に必要とされる期間のみ、データを保持する。 - 外部からのデータ取得：データの乱用、偶発的な損失、および権限のない第三者によるアクセスからデータを保護する。 - 透明性と管理：プロダクトの動作やデータの取り扱いについて、積極的に、明確に、正直に伝える。可能な限り、また適切な場合には、人々が管理できるようにする。 - データへのアクセスと管理：弊社が収集または作成したデータに人々がアクセスし、管理できるようにする。 - 公正さ：明白な立場にある人々のリスクを特定して軽減し、人々のために価値が創造されるようなプロダクトを構築する。 - 説明責任：当社の意思決定、プロダクト、業務に関する内部プロセスおよび技術的コントロールを維持する。 - プライバシー・レビューは、当社のコンプライアンス義務を評価して遵守し、法的要件を超えた広範なプライバシー・リスクを特定して軽減するために使用される、深く協力的で部門横断的なプロセスである。このプロセスは、プライバシー・チームが主導し、プロダクト、エンジニアリング、法的規制、セキュリティ、ポリシーなどのバックグラウンドを持つ、法務、ポリシー、その他を含めた横断的なチームに所属する社内のプライバシー専門家や専門家のグループが実施している。このグループは、プライバシー審査の決定と提案を行う役割を担っている。 - プライバシー・レビューの一例として、横断的なチームは、プロジェクトに関連するプライバシー・リスクを評価し、それらのリスクをコントロールするために発生し得る必要のある変更があるかどうかを判断する。横断的なチームのメンバー間で何をすべきかの合意が得られない場合、チームはより上層のリーダーシップに語り、解決のために必要であればさらにCEOに語る。 	<p>・弊社は、プライバシー・レビュー・プロセス (以下、「プライバシー・レビュー」) を導入しています。このプロセスは、人々の情報の収集、使用、または共有及び、当社のプライバシーおよびセキュリティ慣行に関する外部への説明に係るプライバシー・リスクを評価するプロセスです。また、このプロセスは、当社が特定したプライバシー・リスクを識別し、軽減するためのものでもあります。プロダクトや機能の開発、新機能または慣行の見直しは、プライバシーに関する以下のような観点から行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 目的の限定：人々に価値を提供する、限定された明確な目的のためにのみデータを処理する。 - データの最小化：明確な目的を達成するために必要な最小限のデータを収集・作成する。 - データの保持：明確に示された目的を達成するために実際に必要とされる期間のみ、データを保持する。 - 外部からのデータ取得：データの乱用、偶発的な損失、および権限のない第三者によるアクセスからデータを保護する。 - 透明性と管理：プロダクトの動作やデータの取り扱いについて、積極的に、明確に、正直に伝える。可能な限り、また適切な場合には、人々が管理できるようにする。 - データへのアクセスと管理：弊社が収集または作成したデータに人々がアクセスし、管理できるようにする。 - 公正さ：明白な立場にある人々のリスクを特定して軽減し、人々のために価値が創造されるようなプロダクトを構築する。 - 説明責任：当社の意思決定、プロダクト、業務に関する内部プロセスおよび技術的コントロールを維持する。 - プライバシー・レビューは、当社のコンプライアンス義務を評価して遵守し、法的要件を超えた広範なプライバシー・リスクを特定して軽減するために使用される、深く協力的で部門横断的なプロセスです。このプロセスは、プライバシー・チームが主導し、プロダクト、エンジニアリング、法的規制、セキュリティ、ポリシーなどのバックグラウンドを持つ、法務、ポリシー、その他を含めた横断的なチームに所属する社内のプライバシー専門家や専門家のグループが実施しています。このグループは、プライバシー審査の決定と提案を行う役割を担っています。 - プライバシー・レビューの一例として、横断的なチームは、プロジェクトに関連するプライバシー・リスクを評価し、それらのリスクをコントロールするために発生し得る必要のある変更があるかどうかを判断する。横断的なチームのメンバー間で何をすべきかの合意が得られない場合、チームはより上層のリーダーシップに語り、解決のために必要であればさらにCEOに語ります。
<p>6-2. 利用者情報の取扱いに関するアウトカムについての検討状況 (検討している場合、どのような考え方に基づき判断しているか)</p>	<p>・全社的なプライバシー・リスクを特定、評価、対応するための年次評価を行うとともに、事故発生後にプライバシー・リスクを評価するプロセスを実施するプライバシー・リスク評価プログラムを設計している。今後、時間をかけて評価しながら、プライバシー・リスク評価プロセスを進化、成熟させていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 新しいプロダクトや機能にプライバシー・バイ・デザインを確実に組み込むための説明責任プロセス、セーフガード、技術的メカニズムを構築した。 	<p>・弊社は、全社的なプライバシー・リスクを特定、評価、対応するための年次評価を行うとともに、事故発生後にプライバシー・リスクを評価するプロセスを実施するプライバシー・リスク評価プログラムを設計しています。今後、時間をかけて評価しながら、プライバシー・リスク評価プロセスを進化、成熟させていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 新しいプロダクトや機能にプライバシー・バイ・デザインを確実に組み込むための説明責任プロセス、セーフガード、技術的メカニズムを構築しました。私たちが取り組む世界に即座に対応する必要がある中で、こうしたプロセスにより、新しいプロダクトや機能におけるプライバシー面の配慮を改善することができています。
<p>6-3. 利用者に対する、PIAの結果やアウトカムの説明の取組状況</p>	<p>・ニュースルームの投稿（「データを安全に転送するための手順」など）、データポリシー、透明性レポート、利用者へのグローバルな通知と更新、Facebookヘルプセンター（利用者がプライバシーや共有の設定を行う際に利用できる「プライバシーチェックアップ」など）を通じて、プライバシーに関する決定事項を明らかにしている。</p>	<p>・プライバシーに関する決定は、私たちが利用者とのようにコミュニケーションをとるかというDNAに組み込まれています。ニュースルームの投稿（「データを安全に転送するための手順」など）、データポリシー、透明性レポート、利用者へのグローバルな通知と更新、Facebookヘルプセンター（利用者がプライバシーや共有の設定を行う際に利用できる「プライバシーチェックアップ」など）を通じて、プライバシーに関する決定事項を明らかにしています。</p>
<p>7. 個人情報保護管理の設置状況</p>		<p>・製品担当のCPO (最高プライバシー責任者) とポリシー担当CPOを任命しています。</p>
<p>7-1. 設置状況</p>		<p>・製品担当CPO Michiel Protti ・バイスプレジデント兼ポリシー担当CPO Erin Egan</p>
<p>7-2. 名称等</p>		<p>・製品担当CPO Michiel Protti ・バイスプレジデント兼ポリシー担当CPO Erin Egan</p>
<p>7-3. 業務内容</p>	<p>・製品担当CPOのMichiel Prottiが率いるプライバシーチームは、技術部門と非技術部門の多数のチームから成り、それぞれが経験豊富なリーダーの下でプライバシーに集中して取り組んでいます。プライバシーチームは、包括的なプライバシー・プログラムの構築にあたって中心的な役割を果たしています。チームのミッションは「Metaのあらゆる活動において利用者のプライバシーを尊重すること」であり、ここに取り組みの中心となっています。</p> <p>・プライバシーチームはプライバシーに関する責任を担う数多くの組織のひとつに過ぎません。Metaでは、さまざまな組織でさまざまな役割を担っている何千何百人の社員が、バックログポリシーやプライバシー戦略、法務といったビジネスのあらゆる側面にプライバシーの配慮を浸透させるために努力しています。プライバシーを適切に取り扱うには、部門を超えた深いレベルでの連携が必要です。私たちは、Metaの社員がその責任を担うことを奨励しています。</p> <p>・バイスプレジデント兼ポリシー担当CPOのErin Eganが率いるプライバシー関連公共政策チームは、新しい規制のフレームワークなど、プライバシーに関するグローバルな議論にMetaが参加できるように指導を行っています。また、世界各国の政府や専門家から受けた指摘が、Metaの製品デザインやデータの使用方法に反映されていることを、プライバシー審査プロセスなどで確認しています。</p> <p>・プライバシー委員会は、Metaの取締役会から独立した委員会です。四半期ごとに会合を開き、プライバシーに関する取り組みについて評価を行います。部分分野の監督の経験が豊富な社外組織で構成されています。</p> <p>・委員メンバーは、Metaのプライバシープログラムの現状や、FIC命令の遵守状況に関して、プライバシープログラムとの継続的な審査と報告を職務とする社外の評価者から定期的に報告を受けます。</p> <p>・内部監査チームは、プライバシープログラムとそれを支えるコントロールフレームワークの全体的な健全性を、独立した立場から保証しています。 https://about.facebook.com/ja/actions/protecting-privacy-and-security/privacy-progress/</p>	<p>・製品担当CPOのMichiel Prottiが率いるプライバシーチームは、技術部門と非技術部門の多数のチームから成り、それぞれが経験豊富なリーダーの下でプライバシーに集中して取り組んでいます。</p> <p>・プライバシーチームは、包括的なプライバシー・プログラムの構築にあたって中心的な役割を果たしています。チームのミッションは「Metaのあらゆる活動において利用者のプライバシーを尊重すること」であり、ここに取り組みの中心となっています。</p> <p>・プライバシーチームはプライバシーに関する責任を担う数多くの組織のひとつに過ぎません。Metaでは、さまざまな組織でさまざまな役割を担っている何千何百人の社員が、バックログポリシーやプライバシー戦略、法務といったビジネスのあらゆる側面にプライバシーの配慮を浸透させるために努力しています。プライバシーを適切に取り扱うには、部門を超えた深いレベルでの連携が必要です。私たちは、Metaの社員がその責任を担うことを奨励しています。</p> <p>・バイスプレジデント兼ポリシー担当CPOのErin Eganが率いるプライバシー関連公共政策チームは、新しい規制のフレームワークなど、プライバシーに関するグローバルな議論にMetaが参加できるように指導を行っています。また、世界各国の政府や専門家から受けた指摘が、Metaの製品デザインやデータの使用方法に反映されていることを、プライバシー審査プロセスなどで確認しています。</p> <p>・プライバシー委員会は、Metaの取締役会から独立した委員会です。四半期ごとに会合を開き、プライバシーに関する取り組みについて評価を行います。部分分野の監督の経験が豊富な社外組織で構成されています。</p> <p>・委員メンバーは、Metaのプライバシープログラムの現状や、FIC命令の遵守状況に関して、プライバシープログラムとの継続的な審査と報告を職務とする社外の評価者から定期的に報告を受けます。</p> <p>・内部監査チームは、プライバシープログラムとそれを支えるコントロールフレームワークの全体的な健全性を、独立した立場から保証しています。 https://about.facebook.com/ja/actions/protecting-privacy-and-security/privacy-progress/</p>